

令和3年度 一般会計決算附属資料

教育委員会事務局 主要な施策の成果

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 210千円	最終予算額 272千円	不用額 62千円	執行率	部 教育委員会事務局																												
	項	02 児童福祉費				77.2%																													
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額																													
	事業	02 家庭こども相談室事業				272千円																													
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源																																
目的	家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。																																		
主要な事務・事業の概要	<p>要保護児童対策地域協議会構成機関等と連携の下、児童虐待の未然防止、早期発見と適切な対応を行うとともに、支援の必要な児童や家庭（育児不安・養育力危惧・不登校等）について相談援助活動・家庭訪問・同行支援等を行った。</p> <p>○旅費 調整担当者研修会等旅費 84千円</p> <p>○使用料 有料道路通行料 4千円</p> <p>○需用費 啓発物品・事務用品等 27千円</p> <p>○役務費 職員対応携帯電話通話料（3台） 85千円</p> <p>○負担金 京都府家庭相談員連絡協議会負担金 10千円</p>			<p>○京丹後市児童相談等取扱件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">養護</td> <td>児童虐待</td> <td>334</td> <td rowspan="3">育成</td> <td>性格行動</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>113</td> <td>不登校</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>障害</td> <td>発達障害</td> <td>0</td> <td>適性・育児等</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>非行</td> <td>ぐ犯行為等</td> <td>0</td> <td>計</td> <td></td> <td>453</td> </tr> </tbody> </table> <p>○要保護児童対策地域協議会運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表者・実務者会議 2回 ケース進行管理会議 5回 ケース検討会議 136回 講演会 1回（令和3年11月20日開催）参加者129人 演題「子どもの虐待を防ぐ 具体的な事例と発達障害の子どもへの対応」 					種別	詳細	件数	種別	詳細	件数	養護	児童虐待	334	育成	性格行動	0	その他	113	不登校	3	障害	発達障害	0	適性・育児等	3	非行	ぐ犯行為等	0	計		453
	種別	詳細	件数	種別	詳細	件数																													
養護	児童虐待	334	育成	性格行動	0																														
	その他	113		不登校	3																														
障害	発達障害	0		適性・育児等	3																														
非行	ぐ犯行為等	0	計		453																														
			<p>成果・課題</p> <p>○調整担当者研修等を受講し、複雑・多様化する家庭児童問題に対応するための専門的知識を向上させることができた。</p> <p>○面談・家庭訪問・電話相談の実施、ケース検討会議の開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への対応や支援を行うことができた。</p> <p>○相談取扱件数が増加傾向にある中、適切で迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を重ねるとともに、関係機関との連携をさらに深めるなど、体制の充実を図る必要がある。</p>																																

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 119千円	最終予算額 231千円	不用額 112千円	執行率	部 教育委員会事務局										
	項	02 児童福祉費				51.5%											
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額	課 子ども未来課										
	事業	03 子ども未来まちづくり審議会事業				231千円											
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源														
目的	すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画、特定教育・保育施設の利用定員の設定等について審議する。																
主要な事務・事業の概要	<p>令和元年度に策定した「第2期子ども子育て支援事業計画」の事業進捗状況、特定教育・保育施設の利用定員の設定について情報共有及び協議するとともに、今後の子育て支援拠点等の在り方について審議するため、審議会を開催した。</p> <p>○報酬（審議会委員） 委員：10人 3回開催 104千円 ○旅費（費用弁償） 15千円</p> <p>※審議会等の開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日程</th> <th>審議内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>令和3年6月29日</td> <td rowspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点等について ・子ども・子育て支援事業について ・特定教育・保育施設利用定員について </td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>令和3年8月24日</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>令和3年9月30日</td> </tr> </tbody> </table> <p>・審議会への諮問：令和3年6月14日 「今後の子育て支援拠点等の在り方について」</p> <p>※平成30年度に実施した「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」及び“はは笑みプロジェクト事業 子育てWeb懇談会”で、「天候に関係なく遊ぶことのできる屋内施設がほしい」「交流の場の提供を」といった意見が多くあったため、その在り方を検討するにあたり、諮問を行った。</p> <p>・審議会からの答申：令和3年10月22日</p>				日程	審議内容	第1回	令和3年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点等について ・子ども・子育て支援事業について ・特定教育・保育施設利用定員について 	第2回	令和3年8月24日	第3回	令和3年9月30日				
		日程	審議内容														
第1回	令和3年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点等について ・子ども・子育て支援事業について ・特定教育・保育施設利用定員について 															
第2回	令和3年8月24日																
第3回	令和3年9月30日																
成果・課題	<p>○今後の子育て支援拠点等の在り方について、審議会に諮問し、審議・答申していただいた。</p> <p>○今後も、多様化する子育て支援ニーズへの対応、子どもや子育てに関し審議していただき、子育て世帯やすべての子どもたちが健康で幸せに暮らせるまちづくりを推進していく必要がある。</p>																

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	02 児童福祉費							14,094千円	14,361千円	267千円	98.1 %
	目	01 児童福祉総務費										(参考)当初予算額
	事業	50 児童福祉総務一般経費										951千円
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源									
目的	児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な一般経費											
主要な事務・事業の概要	○旅費 ・担当者会議等職員旅費		7千円	○償還金利子及び割引料 [過年度国庫支出金返還金]		13,409千円						
	○需用費 ・公用車燃料代（3台）及び車検（2台）費用等		535千円	・令和2年度子ども・子育て支援交付金国庫返還金		8,692千円						
	○役務費 ・車検費用、自動車損害保険料等		124千円	・令和2年度子どものための教育・保育給付交付金国庫返還金		2,628千円						
	○使用料及び賃借料 ・有料道路通行料		9千円	・令和元年度保育対策総合支援事業費補助金国庫返還金		143千円						
	○公課費 ・公用車重量税（2台）		10千円	・令和2年度保育対策総合支援事業費補助金国庫返還金		544千円						
				[過年度府支出金返還金]		30千円						
				・令和2年度子どものための教育・保育給付府費交付金返還金		1,219千円						
				成果・課題	支出内容を精査しながら、児童福祉業務を適切に遂行することができた。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局													
	項	02 児童福祉費							62千円	73千円	11千円	84.9%									
	目	02 子育て支援費										(参考)当初予算額									
	事業	01 ファミリー・サポートセンター事業										73千円	課	子ども未来課							
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）		20千円															
			府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）		20千円															
目的	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月から小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。		主な財源																		
主要な事務・事業の概要	<p>新規及び登録済みのまかせて会員を対象に、援助活動に必要な専門的な知識の取得やスキルアップを目的とした講習会を実施した。</p> <p>■実施事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規登録会員及び登録更新会員講習会 参加者 6人 <p>■会員数（令和4年3月末）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・依頼（おねがい）会員</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>・援助（まかせて）会員</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>・両方会員</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>※活動延べ件数</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>※利用者実人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>おねがい会員</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>まかせて会員</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> 役務費（補償保険料） 				前年度	・依頼（おねがい）会員	39人	・援助（まかせて）会員	16人	・両方会員	1人	※活動延べ件数	1件	※利用者実人数		おねがい会員	1人	まかせて会員	2人	62千円	成果・課題
	前年度																				
・依頼（おねがい）会員	39人																				
・援助（まかせて）会員	16人																				
・両方会員	1人																				
※活動延べ件数	1件																				
※利用者実人数																					
おねがい会員	1人																				
まかせて会員	2人																				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	02 児童福祉費							219,211千円	219,794千円	583千円	99.7%
	目	02 子育て支援費										(参考)当初予算額
	事業	02 放課後児童健全育成事業										223,981千円
課	子ども未来課											
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	使用料	放課後児童健全育成事業利用料	22,749千円						
目的	保護者の就労等により放課後や長期休業期の昼間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。			国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）、保育士等処遇改善臨時特例交付金（10/10）	21,469千円						
				府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）	19,219千円						
				府補	新型インフルエンザ感染症対策事業費補助金（10/10）	571千円						
			繰入金	ふるさと応援基金繰入金	34,000千円							
主要な事務・事業の概要	■開設状況 年間開設日数：314日（うち日曜日・祝日開設分：27日） 開設時間：授業終了後～午後6時30分 （長期休業期及び土曜日、日曜日・祝日は午前7時30分～午後6時30分） 年間平均児童数：501人（10か所、12支援単位） 峰山54人・長岡21人・いさなご45人・大宮65人 口大野①52人・口大野②49人・網野南57人・網野北34人 丹後21人・弥栄26人・久美浜①38人・久美浜②39人				○工事請負費	293千円						
	○需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費等）	7,350千円			・峰山トイレ改修工事							
	○委託料（消防設備点検、浄化槽点検、児童送迎車運転等）	10,329千円			○備品購入費	3,310千円						
	○放課後児童健全育成事業委託料（10クラブ）	196,646千円			・エアコン（峰山・口大野）	889千円						
						・サーモグラフィーカメラ（10クラブ、10台）	2,310千円					
						・電話機他（いさなご・網野南・久美浜）	111千円					
						○送迎車両整備経費（峰山・口大野・網野南・丹後・久美浜）	202千円					
						○その他の経費（火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか）	1,081千円					
				成果・課題	○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、委託先の放課後児童支援員の賃金改善を行った。（2、3月分） ○年々増加傾向にある利用者に対応するため、小学校の空き教室等の更なる活用など、施設拡充を検討する必要がある。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																									
	項	02 児童福祉費							20,805千円	21,181千円	376千円	98.2 %																					
	目	02 子育て支援費										(参考)当初予算額																					
	事業	03 子育て支援以外-事業										23,171千円																					
課	子ども未来課																																
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）	5,930千円																											
目的	地域の子育て支援の拠点として市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供等、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを支援する。			府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）	5,930千円																											
				諸収入	網野地域子育て支援以外-光熱水費等負担金	12千円																											
主要な事務・事業の概要	<p>保育所及びこども園の入所、入園前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、8か所の支援センターを設置し、地域に密着した子育て支援を推進した。</p> <p>10月29日、11月8日に開催した子育て交流会は、保護者75人、子ども81人、計156人の参加があった。</p> <p>○支援センター利用人数（延べ人数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援センター</th> <th>児童</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>1,120人</td> <td>1,296人</td> </tr> <tr> <td>大宮北</td> <td>1,245人</td> <td>1,202人</td> </tr> <tr> <td>大宮南</td> <td>626人</td> <td>602人</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>1,454人</td> <td>1,269人</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>818人</td> <td>691人</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>665人</td> <td>656人</td> </tr> <tr> <td>かぶと山</td> <td>710人</td> <td>627人</td> </tr> <tr> <td>こうりゅう</td> <td>548人</td> <td>539人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,186人</td> <td>6,882人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○なかよし広場 （毎月1回、峰山総合福祉センターで実施） ※新型コロナウイルス感染症対策のため令和3年度は未開催</p>		支援センター	児童	保護者	峰山	1,120人	1,296人	大宮北	1,245人	1,202人	大宮南	626人	602人	網野	1,454人	1,269人	丹後	818人	691人	弥栄	665人	656人	かぶと山	710人	627人	こうりゅう	548人	539人	合計	7,186人	6,882人	<p>○会計年度任用職員任用経費（18人分） 15,884千円</p> <p>○通信運搬費（電話代） 247千円</p> <p>○光熱水費 752千円</p> <p>○網野地域子育て支援センター浄化槽維持管理業務委託 233千円</p> <p>○支援センター運営委託料（こうりゅう虹保育園） 2,330千円</p> <p>○その他経費（消耗品費等） 1,359千円</p>
	支援センター	児童	保護者																														
	峰山	1,120人	1,296人																														
大宮北	1,245人	1,202人																															
大宮南	626人	602人																															
網野	1,454人	1,269人																															
丹後	818人	691人																															
弥栄	665人	656人																															
かぶと山	710人	627人																															
こうりゅう	548人	539人																															
合計	7,186人	6,882人																															
成果・課題	<p>保育所及びこども園の入所、入園前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより、子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進を図ることができた。</p>																																

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	02 児童福祉費							4,064千円	4,627千円	563千円	(参考)当初予算額	課	子ども未来課
	目	02 子育て支援費												
	事業	04 保育支援事業												
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）	1,049千円								
目的	保護者の疾病等の理由により家庭での養育が一時的に困難となった児童や、病気の回復期にある児童を一時的に保育し、保護者の子育てと就労を支援する。			国補	子育てのための施設等利用給付交付金（1/2）	444千円								
				府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）	1,049千円								
				府補	子育てのための施設等利用給付交付金（1/4）	222千円								
主要な事務・事業の概要	<p>家庭での養育が一時的に困難となった児童（小学4年生まで）や、病気やけがの回復期にあり、集団保育や登校が困難な児童（小学6年生まで）を一時的に保育・看護し、保護者の子育てと就労を支援する事業を、社会福祉法人みねやま福祉会に委託した。</p> <p>○委託料 3,170千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て短期支援事業委託料 206千円 （延べ利用児童数等） <ul style="list-style-type: none"> 0、1歳児 生活保護・ひとり親非課税世帯 11人 非課税・ひとり親課税世帯 4人 その他の世帯 0人 2歳児以上 生活保護・ひとり親非課税世帯 10人 非課税・ひとり親課税世帯 0人 その他の世帯 1人 病後児保育事業委託料 2,964千円 （延べ利用児童数） 5人（1歳：2人、2歳：1人、5歳：2人） 			<p>○認可外保育施設等給付費 888千円 〔認可外保育施設（こどもの森保育園 与謝野町）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 支給児童数 2人（2世帯） ※5歳児（2号認定児）、4歳児（2号認定児） 支給期間 令和3年4月～令和4年3月（12か月） 支給額 一人当たり444千円（37千円/月×12か月） <p>○日用品費等援助費 6千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 支給児童数 2人（2世帯） ※5歳児（1号認定児）、4歳児（2号認定児） 対象費用 教材費・行事費等 										
	成果・課題	<p>○保護者の育児負担の軽減など一時的な利用があり、養育を必要とする児童及びその家庭の福祉向上につなげることができた。</p> <p>○病気の回復期にある児童の子育てと保護者の就労の両立を支援することができた。</p> <p>○認可外保育施設等の利用費を対象者に給付し、幼児教育・保育無償化に対応した。</p> <p>○低所得世帯の教材費、行事への参加に要する費用等の一部を助成することで、対象家庭の経済的負担を軽減した。</p>												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 児童福祉費				98.8 %			
	目	02 子育て支援費				(参考)当初予算額			
	事業	05 子育て環境整備事業				2,200千円			
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源						
目的	市内の事業所等に対して授乳やおむつ替え等設備の整備に要する経費を助成するほか、市有施設の多目的トイレを改修（おむつ交換台設置）し、市内の子育て支援環境の充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	○子育て環境支援設備整備事業補助金（5事業所） 994千円 ・補助対象者 市内に子育て世帯が利用することが想定される事業所又は店舗を有する者 ・補助対象経費 ①授乳用設備（授乳用机・椅子等）の整備経費 ②おむつ替え設備（おむつ交換台等）の整備経費 ③トイレ内ベビーキーパー設備の整備経費 ④ベビースペース用設備（キッズブロック等）の整備経費 ・補助金額 補助対象経費の10/10以内の額（上限1施設200千円）								
	○久美浜庁舎多目的トイレおむつ交換台設置（1台） 187千円		成果・課題	○市内5事業所のおむつ替え設備等の整備を支援したほか、久美浜庁舎の多目的トイレにおむつ交換台を設置し、市内の子育て支援環境の充実を図った。 ○子育て世帯が安心して外出できる環境整備を進めるため、事業所等が行う子育て支援環境の充実に向けた施設整備等に対する支援が引き続き必要である。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	165,631千円	167,834千円	2,203千円	(参考)当初予算額	98.6%					
	目	04 保育事業費										
	事業	02 保育所管理運営事業										
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源		負担金	保育認定児保育料、日本赤十字振興センター保護者負担金	15,170千円					
目的	児童の健康管理や会計年度任用職員の雇用を行うほか、給食調理業務、幼児送迎業務等を実施し、円滑な保育所運営を行う。		国補	子ども子育て支援体制整備総合推進事業費補助金（1/2）、保育対策総合支援事業費補助金（1/2）	1,075千円							
			国補	保育士等処遇改善臨時特例交付金（10/10）	365千円							
			府補	第3子以降保育料無償化事業費補助金	2,172千円							
			府補	新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金（10/10）	800千円							
			諸収入	延長保育料、延長保育間食負担金、職員給食費ほか	4,108千円							
主要な事務・事業の概要	○健康管理実施経費		2,544千円	（参考）京丹後市内の保育所（R4.3.31現在） ・公立（公設公営）：島津、たちばな、宇川、久美浜 ・公立（公設民営）：大宮北 ・私立：あみの夢保育園、こうりゅう虹保育園、ゆうかり乳児保育所 計8施設								
	・医師報酬・費用弁償、児童検診委託料、大腸菌等検査手数料等											
	○会計年度任用職員任用経費（50人）		103,487千円									
	・共済費（社会保険料等）、報酬等、手当、傷害保険料											
	○職員研修実施経費		155千円									
	・報償費（研修講師謝金）、職員旅費、研修参加負担金											
	○給食調理業務経費		18,279千円									
	・調理業務委託料（島津、たちばな、宇川）											
	○保育所送迎車両関連経費（4台）		8,020千円									
	・業務委託経費、修理費、重量税等											
○入所児童の保育に要する経費		18,140千円										
・保育材料費、賄材料費、医薬材料費												
○保育所運営に要する経費		11,612千円										
・光熱水費、通信運搬費、備品購入費、ピアノ調律等												
○新型コロナウイルス感染症対策関連経費		2,250千円										
・備品購入費（空気清浄機1台、エアコン2台、おもちゃ殺菌保管庫2台等）												
・消耗品費（手指消毒液等）												
○その他必要経費（共通物品、保育協会負担金等）		1,144千円										
成果・課題			○職員確保、児童・職員の健康管理、給食提供、送迎バスの運行管理などの業務を適切に行うことにより、円滑な保育所運営を行うことができた。 ○衛生物品の購入、空気清浄機、エアコンの設置等により、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図った。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、会計年度任用職員の保育士等の処遇改善を行った。（2、3月分） ○乳児利用の増加に対応するため、職員の確保が必要である。									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	511,434千円	512,773千円	1,339千円	(参考)当初予算額	99.7%					
	目	04 保育事業費										
	事業	03 保育業務委託事業										
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	負担金	保育認定児保育料		33,565千円					
目的	保育ニーズに対応するため、民間保育所等に保育業務を委託することで、効率的に子育て支援を推進する。			国負	子どものための教育・保育給付交付金（1/2）		143,477千円					
				国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）		214千円					
				府負	子どものための教育・保育給付交付金（1/4）		58,910千円					
				府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）		214千円					
			繰入金	ふるさと応援基金繰入金		70,000千円						
主要な事務・事業の概要	<p>民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」に2か月児から2歳児まで、「あみの夢保育園」、「こうりゅう虹保育園」に6か月児から5歳児までの保育を委託し、また、市立保育所のうち「大宮北保育所」の運営を社会福祉法人に委託することにより、産休明け・育休明けの保育所利用、保育時間の延長や休日保育等、保護者の保育ニーズに対応した。</p>			○広域入所委託料		1,427千円						
	○乳児保育委託料	67,780千円		里帰り出産等で京丹後市以外の施設を利用した児童数：6人								
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうかり乳児保育所 定員30人 令和4年3月末入所児童数：36人 			[委託先]								
	○公立保育所運営委託料	208,403千円		<ul style="list-style-type: none"> ・のだがわこども園（公立・与謝野町 1人） 59千円 ・港島幼稚園（公立・神戸市 2人） 65千円 ・花園保育園（私立・福知山市 2人） 892千円 ・松ヶ崎保育ルーム（私立・京都市 1人） 411千円 								
	○保育所運営委託料	233,824千円										
	<ul style="list-style-type: none"> ・あみの夢保育園 定員90人 令和4年3月末入園児童数：94人 106,163千円 ・こうりゅう虹保育園 定員120人 令和4年3月末入園児童数：139人 127,661千円 			成果・課題	<p>○保育業務を市内民間事業者に委託することで、保育時間の延長や休日保育など保護者のニーズに対応した保育を実施し、保護者の子育てと仕事の両立支援につなげることができた。</p> <p>○保育業務を他の自治体や市外民営事業者に委託することで、保護者の里帰り出産等のニーズに対応した。</p>							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	02 児童福祉費				32,144千円		32,145千円	1千円	99.9%	課	子ども未来課
	目	04 保育事業費								(参考)当初予算額		
	事業	04 保育所保育事業等補助金								32,217千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進											
目的	民間保育所等が行う事業に対して補助金を交付し、円滑な運営実施のための体制づくり等を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び保育士等の処遇改善を図る。		主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）			3,546千円				
				国補	保育対策総合支援事業費補助金（1/2）			1,200千円				
				国補	保育士等処遇改善臨時特例交付金（10/10）			2,675千円				
				府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）			3,546千円				
				府補	保育対策総合支援事業費補助金（10/10）			800千円				
			府補	新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金（10/10）			1,100千円					
主要な事務・事業の概要	○私立保育所保育事業補助金		25,169千円	○保育所等新型コロナ感染症感染拡大防止対策事業補助金		4,300千円						
	・ゆうかり乳児保育所		2,640千円	・ゆうかり子ども園（AI顔認証タブレット型非接触温度測定装置等）		700千円						
	延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代等）		240千円	・ゆうかり乳児保育所（低濃度オゾン発生装置等）		550千円						
	障害児保育事業（加配職員の人件費）		2,400千円	・大宮北保育所（AI顔認証タブレット型非接触温度測定装置等）		700千円						
	・あみの夢保育園		2,204千円	・あみの夢、こうりゅう虹保育園（IAJN・自動水栓付手洗器等）		1,400千円						
	延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代等）		300千円	・丹後中央病院たぶの木保育所（除菌脱臭機等）		400千円						
	一時預かり事業（配置保育士の人件費）		122千円	・ばんび～のばんび～な保育園（除菌脱臭機等）		550千円						
	障害児保育事業（加配職員の人件費）		1,782千円	○保育士等処遇改善臨時特例補助金		2,675千円						
	・こうりゅう虹保育園		10,069千円	・ゆうかり子ども園（対象保育士等 55人）		668千円						
	延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代等）		300千円	・ゆうかり乳児保育所（対象保育士等 20人）		290千円						
	一時預かり事業（配置保育士の人件費）		337千円	・大宮北保育所（対象保育士等 55人）		768千円						
	障害児保育事業（加配職員の人件費）		7,164千円	・あみの夢保育園（対象保育士等 26人）		427千円						
	通所バス運行費補助金（189千円×12月）		2,268千円	・こうりゅう虹保育園（対象保育士等 35人）		522千円						
	・ゆうかり子ども園		10,256千円	成果・課題	○延長保育、一時預かり及び障害児保育等を推進し、子育て支援と仕事の両立支援を図った。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のための支援を行った。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、保育士等の処遇改善を支援した。（2、3月分）							
	延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代等）		3,328千円									
一時預かり事業（配置保育士の人件費）		792千円										
障害児保育事業（加配職員の人件費）		6,136千円										

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	10,857千円	11,051千円	194千円	(参考)当初予算額	11,807千円	98.2 %				
	目	04 保育事業費										
	事業	05 保育所施設管理事業										
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進									課	子ども未来課	
目的	適切な維持管理のもと、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施する。	主な財源	負担金	保育認定児保育料				623千円				
			府補	第3子以降保育料無償化事業費補助金				52千円				
			市債	児童福祉施設整備事業債（過疎対策債）				4,300千円				
主要な事務・事業の概要	○報償費	3千円	○使用料及び賃借料	106千円								
	土地使用謝金（たちばな保育所園庭入口）		土地借上料（たちばな保育所駐車場等用地）	10千円								
			清掃用具借上料	96千円								
	○需用費	1,947千円	○工事請負費	5,763千円								
	消耗品費	107千円	宇川保育所遊戯室空調機更新工事	1,188千円								
	施設修繕費	1,840千円	島津保育所調理室・0歳児保育室空調機更新工事	505千円								
	○役務費	559千円	島津保育所下水道接続及び浄化槽解体撤去工事	4,070千円								
	貯水槽法定検査、浄化槽法定検査等手数料	32千円										
	火災保険料（12施設分）※旧施設含む	527千円										
	○委託料	2,479千円										
施設警備、グリストラップ収集・処理、浄化槽維持管理等	2,219千円											
島津保育所下水道接続及び浄化槽撤去工事監理委託料	260千円											
		成果・課題	○老朽化等に伴う施設の修繕及び工事を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。 ○施設や設備が老朽化していることから、大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に行っていく必要がある。									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	54,728千円	54,822千円	94千円	(参考)当初予算額	99.8 %					
	目	04 保育事業費					48,026千円	課	子ども未来課			
	事業	06 認定こども園教育利用管理運営事業										
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	負担金	教育認定児保育料	1,920千円						
目的	児童の健康管理や会計年度任用職員の雇用により、円滑な認定こども園（1号認定児）運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。			国負	子どものための教育・保育給付交付金（1/2）	6,716千円						
				国補	保育対策総合支援事業費補助金（1/2）、保育士等処遇改善臨時特例交付金（10/10）	106千円						
				府負	子どものための教育・保育給付交付金（1/4）	5,742千円						
			諸収入	教育認定児預かり保育料	1,405千円							
主要な事務・事業の概要	○健康管理実施経費 医師・薬剤師報酬、児童検診委託料、幼児健康診断票印刷代等		924千円	（参考）京丹後市内の幼保連携型認定こども園（R4.3.31現在） ・公立：峰山、大宮、網野、丹後、弥栄、かぶと山 ・私立：ゆうかり子ども園								
	○会計年度任用職員任用経費（12人分） 共済費（社会保険料等）、報酬等、手当		34,897千円									
	○こども園運営に要する経費 備品購入費（絵本）		120千円									
	○日本スポーツ振興センター負担金		26千円									
	○認定こども園施設給付費 ゆうかり子ども園：3歳以上児の幼児教育業務（1号認定児） 定員12人 令和4年3月末入園児童数：10人		18,723千円									
	○新型コロナウイルス感染症対策関連経費 消耗品費（手指消毒液等）		38千円									
			成果・課題	○職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を適切に行うことにより、円滑なこども園運営を行うことができた。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、会計年度任用職員の保育士等の処遇改善を行った。（2，3月分）								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	706,983千円	710,518千円	3,535千円	(参考)当初予算額	772,982千円	99.5 %				
	目	04 保育事業費										
	事業	07 認定こども園保育利用管理運営事業										
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進									課	子ども未来課	
目的	児童の健康管理や会計年度任用職員の雇用により、円滑な認定こども園（2号・3号認定児）運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。		主な財源	負担金	保育認定児保育料		65,292千円					
				国負	子どものための教育・保育給付交付金（1/2）		63,857千円					
				国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）、保育対策総合支援事業費補助金（1/2）ほか		8,354千円					
				府負	子どものための教育・保育給付交付金（1/4）		27,350千円					
				府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）第3子以降保育料無償化事業費補助金ほか		14,575千円					
			諸収入	広域入所児童受託保育料、一時預かり事業利用料、職員給食費ほか		16,212千円						
主要な事務・事業の概要	○健康管理実施経費		4,618千円	○認定こども園施設給付費		130,239千円						
	医師報酬・費用弁償、児童検診委託料、大腸菌等検査手数料等			ゆうかり子ども園：6か月児～5歳児の保育業務（2号及び3号認定児）								
	○会計年度任用職員任用経費（186人）		391,488千円	定員138人 令和4年3月末入園児童数：166人								
	共済費（社会保険料等）、報酬等、手当			○その他必要経費		1,577千円						
	○職員研修実施経費		41千円	共通物品（コピー用紙等の事務消耗品）、日本スポーツ振興センター負担金、								
	職員旅費等			全国公立幼稚園・こども園長会負担金								
	○給食調理業務経費		28,423千円									
	調理業務委託料（大宮、かぶと山）											
	○こども園送迎車両関連経費（17台）		27,689千円									
	業務委託経費、修理費、重量税等											
○入園児童の保育に要する経費		76,343千円										
保育材料費、賄材料費、医薬材料費												
○こども園運営に要する経費		42,773千円										
光熱水費、通信運搬費、備品購入費（おもちゃ殺菌保管庫等）、廃家電処理等												
○新型コロナウイルス感染症対策関連経費		3,792千円										
備品購入費（検温サーモグラフィカメラ 6台、おもちゃ殺菌保管庫3台等）												
消耗品費（手指消毒液等）												
			成果・課題		○職員確保、児童・職員の健康管理、給食提供、送迎バスの運行管理などの業務を適切に行い、円滑なこども園運営を行うことができた。							
					○衛生物品の購入、検温サーモグラフィカメラの設置等により、新型コロナウイルス感染症対策を図った。							
					○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、会計年度任用職員の保育士等の処遇改善を行った。（2、3月分）							
					○乳児利用の増加に対応するため、職員体制の確保や、より適切な保育環境の整備が必要である。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	15,876千円	16,104千円	228千円	(参考)当初予算額	98.5 %					
	目	04 保育事業費										
	事業	08 認定こども園施設管理事業										
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進							課	子ども未来課			
目的	適切な維持管理のもと、必要な点検・整備を実施し、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができる環境を整える。		主な財源	負担金	保育認定児保育料		860千円					
				負担金	教育認定児保育料		353千円					
				府補	第3子以降保育料無償化事業費補助金		84千円					
				市債	児童福祉施設整備事業（過疎対策債）		8,300千円					
主要な事務・事業の概要	○需用費		2,940千円	○工事請負費			8,006千円					
	消耗品費		164千円	丹後こども園屋外プール設置工事			8,006千円					
	修繕費		2,776千円									
	○役務費		887千円									
	貯水槽法定検査、浄化槽法定検査等手数料等		38千円									
火災保険料（6施設分）		849千円										
○委託料		3,832千円										
施設警備、グリストラップ収集・処理、自動ドア保守点検		3,502千円										
消防設備点検、自家用電気工作物保安管理、害虫駆除等												
丹後こども園屋外プール設置工事監理委託		330千円										
○使用料及び賃借料		211千円										
清掃用具借上料		211千円										
				成果・課題	○突発的な事案に伴う施設の修繕等を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。 ○老朽化した施設もある中、大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に行っていく必要がある。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	02 児童福祉費							34,191千円	34,192千円	1千円	99.9 %
	目	04 保育事業費										(参考)当初予算額
	事業	09 保育所等環境整備事業										31,534千円
課	子ども未来課											
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	保育対策総合支援事業費補助金（1/2）	5,000千円						
目的	公設公営保育施設における保育業務の負担軽減及び保護者の利便性の向上を図るため、保育業務支援システムを導入する。			国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	13,000千円						
				市債	児童福祉施設整備事業債（過疎対策債）	14,500千円						
主要な事務・事業の概要	○無線LAN構築経費（保育所・こども園10施設）		14,876千円									
	・基本設計委託料		291千円									
	・工事委託料		14,289千円									
	・工事監理委託料		296千円									
○備品購入費		14,915千円										
・正職員用タブレット端末 103台、バーコードリーダー15台、管理用PC端末 1台												
○保育業務支援システム導入経費		4,400千円										
・情報通信機器等設置委託料												
導入システム名：コドモン												
運用期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日（5か年）												
成果・課題	<p>○保育所等施設に無線LAN環境を整備するとともに、正職員にタブレット端末を整備した。また、保育業務支援システムを導入し、保育業務のICT化を図った。</p> <p>○保育業務の負担軽減及び保育の質の向上が図られるよう、保育業務支援システムの十分な活用を進める必要がある。</p>											

予算科目	款	06 農林水産業費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																					
	項	01 農業費							6,631千円	7,027千円	396千円	94.3%																	
	目	02 農業総務費										(参考)当初予算額																	
	事業	03 アグリセンター管理運営事業										7,027千円																	
基本計画	02 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		使用料	アグリセンター使用料		431千円	課	生涯学習課																					
目的	施設の維持管理及び運営を行い、農業・農村の活性化及び地域住民の福祉・健康増進に寄与する。		諸収入	アグリセンター使用料光熱水費等負担金		75千円																							
主要な事務・事業の概要	<p>地域農林業の振興、生涯学習活動の推進及び地域福祉の増進が図れるよう、施設の維持管理を行った。</p> <p>○施設管理委託 2,818千円 施設清掃、休日・夜間管理、舞台吊物機構保守点検、移動観覧席保守点検 空調設備保守点検、自動ドア保守点検、防虫管理、消防設備点検、特殊建築物点検、グリストラップ汚泥処理</p> <p>○施設修繕料 1,910千円 移動観覧席脱着式手すり軽量化、非常灯</p> <p>○光熱水費 1,670千円 電気、水道、下水道、ガス、灯油</p> <p>○備品購入費 50千円 消火器（7本）</p> <p>○事務費 183千円 消耗品、申請書印刷、テレビ受信料、火災保険料</p>			主な財源																									
				<p>〈利用状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>利用回数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業技術研修室</td> <td>151回</td> <td>1,244人</td> </tr> <tr> <td>視聴覚教育室</td> <td>215回</td> <td>2,514人</td> </tr> <tr> <td>地域活性化教育室</td> <td>86回</td> <td>4,958人</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール（エントランス含む）</td> <td>149回</td> <td>7,156人</td> </tr> <tr> <td>調理加工実習室</td> <td>17回</td> <td>138人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>618回</td> <td>16,010人</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	利用回数	利用人数	農業技術研修室	151回	1,244人	視聴覚教育室	215回	2,514人	地域活性化教育室	86回	4,958人	多目的ホール（エントランス含む）	149回	7,156人	調理加工実習室	17回	138人	合 計	618回	16,010人
区 分	利用回数	利用人数																											
農業技術研修室	151回	1,244人																											
視聴覚教育室	215回	2,514人																											
地域活性化教育室	86回	4,958人																											
多目的ホール（エントランス含む）	149回	7,156人																											
調理加工実習室	17回	138人																											
合 計	618回	16,010人																											
				成果・課題	<p>○新型コロナウイルス感染予防のため、一部施設の使用制限を行ったが、農林業の振興にかかる研修会・講演会をはじめ、生涯学習や福祉など幅広い分野で施設活用ができた。</p> <p>○築後20年以上が経過する中で、設備や機材の老朽化が目立つため、計画的な修繕を実施するなど、適切な施設管理を行う必要がある。</p>																								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 3,884千円	最終予算額 4,000千円	不用額 116千円	執行率	部 教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				97.1 %	
	目	01 教育委員会費				(参考)当初予算額	
	事業	50 教育委員会一般経費				4,000千円	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源				
目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会を運営する。						
主要な事務・事業の概要	<p>教育委員の報酬、会議参集や管内研修に係る費用弁償及び丹後地方教育委員会連合会負担金を支出した。教育委員会会議は、定例会12回、臨時会6回及び委員協議会3回を開催した。</p> <p>また、市内学校をはじめ社会教育施設等の管内視察や、各種研修及び先進地視察の活動を行った。</p>						
	○報酬	3,456千円					
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の報酬（4人） 						
○旅費等	136千円						
	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿市町村教育委員会研修大会に要する経費 ・先進地視察研修に要する経費 あかし市民図書館（兵庫県明石市）、養父市文化会館（兵庫県養父市） ※研修テーマ：複合施設への移転効果と課題など ・各種研修、会議出席等に要する経費 						
○負担金	292千円						
	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後地方教育委員会連合会負担金 						
成果・課題	<p>○管内視察をはじめ先進地視察を実施し実情の把握に努め、積極的な活動を行うことにより幅広い識見を得ることができた。</p> <p>○社会の変化や新たな行政需要に対応するため、委員協議会を活用し、調査・研修及び意見交換を行うことができた。</p> <p>○課題解決に向け、地域の意向や教育現場等の状況を把握し、教育施策や教育委員会の意思決定に反映させるため、今後も研修機会及び管内視察等の充実を図る必要がある。</p>						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 12,626千円	最終予算額 12,909千円	不用額 283千円	執行率	部 教育委員会事務局																
	項	01 教育総務費				97.8 %																	
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額																	
	事業	03 指導主事設置事業				12,909千円																	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																				
目的	学校教育及び就学前教育の充実を図るため、指導主事（会計年度任用職員）4人を配置し、専門的事項に関する指示・指導を行う。																						
主要な事務・事業の概要	<p>4人の地域担当の指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。</p> <p>【指導主事 4人】</p> <p>○会計年度任用職員任用経費 12,400千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 8,658千円 ・期末手当 1,636千円 ・共済費（社会保険料、雇用保険料） 1,709千円 ・費用弁償 397千円 <p>○市内業務移動に係る費用弁償 226千円</p>			<p>【指導主事配置状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配置先</th> <th>配置人数</th> <th>所管町域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山地域公民館</td> <td>1人</td> <td>峰山町</td> </tr> <tr> <td>大宮地域公民館・久美浜地域公民館</td> <td>1人</td> <td>大宮町、久美浜町</td> </tr> <tr> <td>網野地域公民館</td> <td>1人</td> <td>網野町</td> </tr> <tr> <td>丹後地域公民館・弥栄地域公民館</td> <td>1人</td> <td>丹後町、弥栄町</td> </tr> </tbody> </table>					配置先	配置人数	所管町域	峰山地域公民館	1人	峰山町	大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人	大宮町、久美浜町	網野地域公民館	1人	網野町	丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人	丹後町、弥栄町
	配置先	配置人数	所管町域																				
峰山地域公民館	1人	峰山町																					
大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人	大宮町、久美浜町																					
網野地域公民館	1人	網野町																					
丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人	丹後町、弥栄町																					
				成果・課題	<p>学校経営、教育内容に対する専門知識や豊かな経験を基にした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。</p>																		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	19,758千円	19,825千円	67千円	99.6 %		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	04 学校医委嘱事業				19,825千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	学校保健安全法に基づき、各学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。							
主要な事務・事業の概要	○報酬		19,737千円					
	<ul style="list-style-type: none"> ・医師報酬 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 17人 5,972千円 中学校 6人 2,587千円 ・歯科医報酬 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 17人 5,972千円 中学校 6人 2,587千円 ・薬剤師報酬 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 17人 2,064千円 中学校 6人 555千円 							
○旅費		21千円		成果・課題	<p>学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。</p>			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	01 教育総務費							5,429千円	5,645千円	216千円	96.1 %
	目	02 事務局費										(参考)当初予算額
	事業	05 学務経費										5,348千円
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	<p>学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。 また、小中学校の枠を超えた取組として、特別支援学級ふれあい交流会を実施する。</p>											
主要な事務・事業の概要	<p>○学齢簿の管理（委託料） 学齢簿関連システム保守料及びシステム改修業務</p>		726千円	<p>○負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本スポーツ振興センター負担金 3,417千円 ・京都府学校保健会負担金 44千円 ・京都府学校保健主事会負担金 18千円 ・京都府特別支援教育研究協議会負担金 10千円 ・教育研究事業負担金 86千円 ・京都府学校保健研究大会負担金 200千円 		3,775千円						
	<p>○特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費） ・各学園ふれあい交流会 小学校及び中学校の特別支援学級の児童・生徒が集まって交流 実施中学校区：全中学校区 ・中学校ふれあい交流会 ※新型コロナウイルス感染症の影響のため中止</p>		40千円	<p>○児童生徒・教職員健康診断（消耗品費、印刷製本費、施設使用料） 13千円</p> <p>○各種通知封筒印刷 40千円</p>								
<p>○人権教育研究会（消耗品費）</p>		23千円										
<p>○就学時健康診断（医師謝金、消耗品費、費用弁償） ※受診人数：396人</p>		812千円										
				成果・課題	<p>○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりができた。 ○京都府学校保健研究大会を主管地として開催するにあたり、コロナ禍での開催が困難な中、オンラインで開催し、スムーズな大会運営を行うことができた。</p>							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																								
	項	01 教育総務費	5,039千円		5,387千円	348千円	93.5 %																																										
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額																																										
	事業	06 学校安全対策事業					5,587千円	課	学校教育課																																								
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金(2/3)		808千円																																										
目的	保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、児童生徒を事件や事故から守る。			繰入金	ふるさと応援基金繰入金		2,000千円																																										
主要な事務・事業の概要	○子ども安心パトロール車(にこにこカー)の運行・管理 3,041千円 各学校に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。 ・維持管理費及び運行経費 燃料費(ガソリン代) 945千円 消耗品費・修繕料(車検、車両消耗品ほか) 1,105千円 手数料・保険料・公課費 991千円 配車一覧				○スクールガード・リーダー巡回・指導 1,759千円 警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。 ・年間巡回活動等の実績:5人で330回 ・報償金(活動謝金) ・保険料(総合補償保険料) ○学校の除雪活動 239千円 積雪時の通学の安全性を高めるため、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。 ・保険料(ボランティア活動保険) ・修繕料(除雪機)																																												
	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>峰山小、長岡小</td><td>8</td><td>いさなご小</td><td>15</td><td>峰山中</td></tr> <tr><td>2</td><td>大宮第一小</td><td>9</td><td>網野南小</td><td>16</td><td>大宮南小</td></tr> <tr><td>3</td><td>網野中</td><td>10</td><td>橘小</td><td>17</td><td>島津小</td></tr> <tr><td>4</td><td>丹後中</td><td>11</td><td>宇川小</td><td>18</td><td>網野北小、弥栄小</td></tr> <tr><td>5</td><td>大宮中</td><td>12</td><td>弥栄小、吉野小</td><td>19</td><td>丹後小</td></tr> <tr><td>6</td><td>高龍小</td><td>13</td><td>久美浜中</td><td>20</td><td>かぶと山小、久美浜小</td></tr> <tr><td>7</td><td>教育委員会事務局</td><td>14</td><td>弥栄中</td><td>21</td><td>しんざん小</td></tr> </table>				1	峰山小、長岡小	8	いさなご小	15	峰山中	2	大宮第一小	9	網野南小	16	大宮南小	3	網野中	10	橘小	17	島津小	4	丹後中	11	宇川小	18	網野北小、弥栄小	5	大宮中	12	弥栄小、吉野小	19	丹後小	6	高龍小	13	久美浜中	20	かぶと山小、久美浜小	7	教育委員会事務局	14	弥栄中	21	しんざん小	成果・課題 ○各小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊(ボランティア)等による地域ぐるみの見守り活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、児童、生徒の安全につながっている。 ○関係機関と協力し、クマやサルなどの野生動物の出没情報をいち早く学校と共有することで児童・生徒への被害を未然に防ぐ必要がある。 ○通学路の安全性をより高めるため、関係機関と連携し除雪体制を推進する必要がある。		
1	峰山小、長岡小	8	いさなご小	15	峰山中																																												
2	大宮第一小	9	網野南小	16	大宮南小																																												
3	網野中	10	橘小	17	島津小																																												
4	丹後中	11	宇川小	18	網野北小、弥栄小																																												
5	大宮中	12	弥栄小、吉野小	19	丹後小																																												
6	高龍小	13	久美浜中	20	かぶと山小、久美浜小																																												
7	教育委員会事務局	14	弥栄中	21	しんざん小																																												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 309千円	最終予算額 321千円	不用額 12千円	執行率	部 教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				96.2 %	
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課 学校教育課
	事業	08 就学支援・教育相談事業				321千円	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源				
目的	児童生徒の不登校など学校不適應の状況を、発達検査などにより把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。						
主要な事務・事業の概要	<p>○教育相談事業及び研修の実施</p> <p>各小中学校において臨床心理士による児童生徒や保護者との教育相談を実施し、当該児童生徒の通う学校の教職員へのアドバイスを行った。また、児童生徒の不登校などの学校不適應の未然防止や解消に向けての対応の在り方について、各小中学校の教育相談担当者や心の教室相談員などを対象に研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談会場 大宮庁舎及び各小中学校 実施回数 毎月2回（大宮庁舎）及び適宜（各小中学校） 合計183回実施 相談件数 延べ252件 教育相談担当者研修 年3回 事例研修 教育支援部会などにて適宜実施（各小中学校） 			<p>○教育支援に係る発達検査備品購入費 92千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 新版K式発達検査2020補充追加セット <p>○会議出張旅費 5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 有料道路通行料 			
	<p>○教育支援に係る発達検査記録用紙購入費 212千円</p> <ul style="list-style-type: none"> WISC-IV知能検査記録用紙、日本版KABC-II記録用紙ほか 			成果・課題	<p>○臨床心理士による発達検査の実施、教育相談、教職員研修を実施することにより、適切な就学や支援へとつながり、児童生徒の学校適應が推進された。</p> <p>○中学校の不登校出現率の減少が見られる一方、小学校の不登校出現率が増加しているため、その要因分析を進めるとともに、不適應の未然防止、問題解消に向けて相談支援を行う必要がある。</p> <p>○コロナ禍で学校の活動に制限がある中、児童生徒の些細な変化やサインを見逃さないように、見守りと信頼関係の構築を行う必要がある。</p>		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	01 教育総務費						10,209千円	11,420千円	1,211千円	(参考)当初予算額	89.3 %	
	目	02 事務局費										11,420千円	学校教育課
	事業	09 教育支援センター管理運営事業											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		府補	不登校児童生徒に対する支援推進事業費補助金(1/3)		530千円							
目的	不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰等の社会的自立を支援する。		主な財源	府補	不登校児童生徒支援拠点整備事業費補助金(1/2)		17千円						
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金		5,000千円						
主要な事務・事業の概要	<p>不登校等にある児童生徒及び当該児童生徒の保護者に対し、教育相談及び適応指導を通じ、学校生活への復帰等の社会的自立を支援するため、京丹後市教育支援センター「まわら」の指導員が各小中学校や関係機関と連携しながら支援を行った。</p> <p><教育支援センター運営経費></p> <ul style="list-style-type: none"> 配置人数 5人 教育支援センター指導員(会計年度任用職員) 配置体制 3人(各指導員 週3日 1日7時間) 通所児童生徒数 17人(小学生4人、中学生13人) 相談延べ件数 828件 来所延べ人数 1,239人 延べ訪問回数 77回 			<ul style="list-style-type: none"> ○需用費(消耗品費 ほか) 148千円 ○役務費(通信運搬費 ほか) 102千円 ○使用料及び賃借料(コピー機借り上げ料) 136千円 									
	<p>○会計年度任用職員任用経費(5人) 9,823千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 6,846千円 会計年度任用職員期末手当 1,260千円 共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 1,353千円 費用弁償 364千円 			成果・課題	<p>○教員経験の豊富な指導員による児童生徒等への学習及び生活の支援や、スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーのカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰や進路実現等の社会的自立を図ることができた。</p> <p>○市内の小学校の不登校児童が増加していることから、府配置のスクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー等とも連携し、支援センターの中核機能を果たす上で個々の状況をアセスメントするとともにアウトリーチ型の訪問等を各校へ行うなど、支援を確実かつ的確に行う必要がある。</p>								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 3,403千円	最終予算額 3,537千円	不用額 134千円	執行率	部 教育委員会事務局																									
	項	01 教育総務費				96.2 %																										
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額																										
	事業	10 地域学校協働本部事業				3,537千円																										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金 2,098千円																													
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人々の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。			主な財源																												
主要な事務・事業の概要	地域全体で学校教育を支援するため、様々な特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として登録し、全てのこども園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などを実施した。			○ボランティア活動の内容等																												
	○地域コーディネーター謝金（6人分）	2,686千円		<ul style="list-style-type: none"> 学習支援（教科指導補助、「総合的な学習」講師補助、部活動指導支援等） 環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等） 																												
	○地域コーディネーター旅費	264千円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 域</th> <th>活動日数</th> <th>活動人数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山学園</td> <td>375日</td> <td>2,781人</td> </tr> <tr> <td>大宮学園</td> <td>130日</td> <td>145人</td> </tr> <tr> <td>網野学園</td> <td>636日</td> <td>3,946人</td> </tr> <tr> <td>丹後学園</td> <td>74日</td> <td>181人</td> </tr> <tr> <td>弥栄学園</td> <td>299日</td> <td>418人</td> </tr> <tr> <td>久美浜学園</td> <td>466日</td> <td>6,282人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,980日</td> <td>13,753人</td> </tr> </tbody> </table>					区 域	活動日数	活動人数（延べ）	峰山学園	375日	2,781人	大宮学園	130日	145人	網野学園	636日	3,946人	丹後学園	74日	181人	弥栄学園	299日	418人	久美浜学園	466日	6,282人	合 計	1,980日	13,753人
	区 域	活動日数	活動人数（延べ）																													
峰山学園	375日	2,781人																														
大宮学園	130日	145人																														
網野学園	636日	3,946人																														
丹後学園	74日	181人																														
弥栄学園	299日	418人																														
久美浜学園	466日	6,282人																														
合 計	1,980日	13,753人																														
○消耗品費、印刷製本費	453千円																															
<活動概要>	○実施期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日																															
	○実施場所 市内全小学校（17校）、中学校（6校） こども園（6園）																															
	○地域コーディネーター 6人（配置先：6中学校）																															
	○ボランティア登録者数 557人（令和3年度新規登録者数32人）																															
	○広報紙の発行 2回（ボランティア募集、活動報告）																															
	※ボランティアの登録状況（令和3年3月末現在）			成果・課題																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>町域</th> <th>峰山</th> <th>大宮</th> <th>網野</th> <th>丹後</th> <th>弥栄</th> <th>久美浜</th> <th>市外</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録人数</td> <td>119人</td> <td>90人</td> <td>154人</td> <td>67人</td> <td>68人</td> <td>58人</td> <td>1人</td> <td>557人</td> </tr> </tbody> </table>			町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計	登録人数	119人	90人	154人	67人	68人	58人	1人	557人	○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がり、市民の生きがい作りになっている。 ○学校活動の多様化に伴うニーズを的確に把握し、地域特性を活かした人材（ボランティア登録者）をより多く確保していく必要がある。										
町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計																								
登録人数	119人	90人	154人	67人	68人	58人	1人	557人																								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 330千円	最終予算額 334千円	不用額 4千円	執行率	部 教育委員会事務局																		
	項	01 教育総務費				98.8 %																			
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額																			
	事業	11 学習支援体制整備事業				1,476千円																			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金(2/3)	218千円	課 学校教育課																				
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後を活用した教育活動を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。																								
主要な事務・事業の概要	<p>○中学生の放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 330千円</p> <p>放課後を活用した学習を希望する生徒を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>回数</th> <th>参加人数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>4回</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>15回</td> <td>250人</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>9回</td> <td>271人</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>22回</td> <td>515人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>36回</td> <td>650人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>25回</td> <td>1,223人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※放課後学習支援に係る時期・回数等計画内容は、学校によって異なります。</p>			学校名	回数	参加人数（延べ）	峰山中学校	4回	42人	大宮中学校	15回	250人	網野中学校	9回	271人	丹後中学校	22回	515人	弥栄中学校	36回	650人	久美浜中学校	25回	1,223人	主な財源
	学校名	回数	参加人数（延べ）																						
峰山中学校	4回	42人																							
大宮中学校	15回	250人																							
網野中学校	9回	271人																							
丹後中学校	22回	515人																							
弥栄中学校	36回	650人																							
久美浜中学校	25回	1,223人																							
成果・課題	中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習を行うことができた。																								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	01 教育総務費							209,131千円	429,954千円	220,823千円	48.6%	
	目	02 事務局費										(参考)当初予算額	
	事業	12 学校跡施設管理事業										429,954千円	
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		市債	旧小学校施設解体事業債（合併特例債）		194,100千円							
目的	学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行い、利活用の推進を図る。			主な財源									
主要な事務・事業の概要	○閉校施設修繕費（4施設）		506千円		○旧湊小学校校舎棟解体事業		205,365千円						
	電気設備、貯水槽、フェンス等の修繕を行い、施設の適正管理を図った。 修繕施設：旧大宮第三小学校、旧田村小学校、旧豊栄小学校 旧宇川中学校			・委託料（建物調査等業務、地下水水質調査業務）		5,204千円							
	○維持管理経費		1,014千円	・工事請負費		199,194千円							
	貯水槽法定検査手数料（容量10m ³ を超える貯水槽2施設）、建物火災保険料 貯水槽等保守点検、雑木伐採委託料、ごみ処理手数料等			・手数料等		967千円							
○工事請負費		2,123千円	（エアコン撤去手数料、消火器処分手数料等）										
・旧大宮第三小学校貯水槽改修工事		673千円											
・旧川上小学校消防ポンプ設備改修工事		528千円											
・旧豊栄小学校校舎消防設備改修工事		922千円											
○学校跡施設利活用経費		123千円											
・学校跡施設利活用委員会経費		35千円											
・手数料等（ごみ処理手数料等）		88千円											
					<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>209,488千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.8%</td> </tr> </table>			参考	繰越明許費を除いた最終予算額	209,488千円		実質的な予算執行率	99.8%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	209,488千円											
	実質的な予算執行率	99.8%											
					<p>■令和4年度への繰越事業 220,466千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧橋小学校低圧化工事（工事請負費） 令和4年5月完了 旧湊小学校校舎棟解体事業（工事監理、工事請負費） 令和4年6月完了 								
					<p>成果・課題</p> <p>○施設の老朽化が進み、利活用ができない旧湊小学校校舎及びプール棟施設について除却を進めることができたが、解体工事を実施する際は、周边环境の調査等地元との調整を十分に行い進める必要がある。 ○旧橋小学校体育館及びグラウンド、旧豊栄小学校校舎について、利活用の公募を行い事業候補者を決定することができた。 ○施設等の状況を考慮しながら、利活用が進むよう今後も検討を進めていく必要がある。</p>								

予 算 科 目	款	10 教育費	本 年 度 決 算 額	最 終 予 算 額	不 用 額	執 行 率	部	教育委員会事務局																				
	項	01 教育総務費						1,606千円	1,606千円	0千円	100.0 %	課	教育総務課															
	目	02 事務局費									(参考)当初予算額																	
	事業	13 学校教育施設整備基金									1,583千円																	
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主 な 財 源	財産収入 土地建物貸付収入	1,604千円																							
目的	学校跡施設の建物貸付料をもとに、学校教育施設の整備等を進めることを目的とした学校教育施設整備基金への積立金			財産収入 学校教育施設整備基金利子収入	2千円																							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○学校教育施設整備基金積立金 1,606千円 建物賃貸借料を基に国が算出した国庫納付金相当額以上を積み立てる ・旧大宮第三小学校分 278千円 ・旧三津小学校分 1,326千円 ・基金利子分 2千円																											
			(単位：千円)																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">令和2年度末 現在高</th> <th colspan="3">令和3年度中増減額</th> <th rowspan="2">令和3年度末 現在高</th> </tr> <tr> <th>繰入金</th> <th>運用利子</th> <th>積立金</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>①-②+(③+④)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,303</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1,604</td> <td>6,909</td> </tr> </tbody> </table>			令和2年度末 現在高	令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高	繰入金	運用利子	積立金	①	②	③	④	①-②+(③+④)	5,303	0	2	1,604	6,909	成果・課題					
令和2年度末 現在高	令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高																								
	繰入金	運用利子	積立金																									
①	②	③	④	①-②+(③+④)																								
5,303	0	2	1,604	6,909																								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	01 教育総務費						189千円	228千円	39千円	82.8 %
	目	02 事務局費									(参考)当初予算額
	事業	14 保幼小中一貫教育推進事業									509千円
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源								
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究並びに教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて確かな学力、豊かな心を育成する。										
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償） 71千円 ・協議会委員 14人（大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員等） ・協議会の開催 2回（12月・3月） ・調査研究事業 保幼小中一貫教育実施校における効果と課題の整理		○授業実践力向上研修会（講師謝金、消耗品費） 46千円 開催日：令和3年10月12日（火） 参加者：99人 対象：市内小中学校教員、教育関係者 場所：いさなご小学校 講師：尾崎 正彦 氏（関西大学初等部 教諭）								
	○学校教育連携専門部会 ・専門部会 学校運営部員 6人 ・開催回数 学校運営部会 2回		○丹後学研修会（講師謝金） ※オンライン開催 30千円 開催日：令和4年3月3日（木） 参加者：29人 対象：市内小中学校教員、教育関係者 講師：俣野 裕哉 氏（一般社団法人京丹後青年会議所 副理事長）								
○保幼小中一貫教育指導の重点リーフレット・ポスター作成配布（教職員用） ・指導の重点360部、推進上の留意点60部、ダイジェスト版660部ほか		○出張旅費等（旅費、有料道路使用料） 7千円									
○教育フォーラムの開催（消耗品費） 5千円 開催日：令和3年10月21日（木） 参加者：63人 対象：市内保育所・こども園・小中学校教員、教育関係者他 場所：峰山こども園 内容：公開保育、乳幼児期の教育・保育の取組紹介		○小中一貫教育全国連絡協議会負担金 30千円		成果・課題 ○保幼小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ね、保幼小中一貫教育推進基本計画に基づく各学園の取組評価等をPDCAサイクルにより進めることができた。 ○郷土への愛着と誇り、地域での生活への意欲を系統的にはぐくむ丹後学を指導する教員が地域における様々な取組を知る機会として、丹後学研修会を開催することができた。 ○引き続き、保幼小中一貫教育を推進するための研究及び検証を進める必要がある。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 4,886千円	最終予算額 5,717千円	不用額 831千円	執行率	部 教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				85.4 %	
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	
	事業	15 保幼小中一貫教育実践事業				5,717千円	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		府補 きょうと地域連携交付金（保幼小中一貫教育実践事業）			1,400千円	課 学校教育課
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づくより良い教育の実現に向け、市内全域で保幼小中一貫教育を実践する。また、学力の向上等の課題解決を目指すとともに、将来に夢と希望をもって学ぶことのできる子どもを育成する。			主な財源			
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育の実践（報償費、消耗品費、印刷製本費等） ・峰山学園（授業研究会、部活動体験、体験授業等） ・大宮学園（あいさつ運動、小中合同講演会等） ・網野学園（部活動体験、授業体験、SNS講座等） ・丹後学園（部活動体験、あいさつ運動、授業体験等） ・弥栄学園（部活動体験、保幼小中行事交流等） ・久美浜学園（部活動体験、SNS講演会等）		3,248千円	○京丹後市保幼小中一貫教育研修会（講師謝金） 開催日： 令和3年8月20日（金） 参加者： 160人 対象： 市内小中学校教員、教育関係者 講師： 秋田 喜代美 氏（東京大学大学院 教授） ※オンライン開催		50千円	
	○特色ある学校づくりの支援（報償費、消耗品費、委託料等） 実施校：小学校16校、中学校6校 主な取組内容：郷土学習、環境学習、農業体験、人権学習 ばら寿司作り、福祉体験講座、性教育、 SDGsに関する取組等		1,588千円	○保幼小中一貫教育の実施により、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響で一部取り組むことができなかったものもあるが、部活動体験等の小中連携、合同SNS講演会等の小中連携等、学園内の保幼小中学校が連携した教育活動を実施することができた。		成果・課題	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				90.6 %		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	16 いじめ防止啓発推進事業				1,681千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。							
主要な事務・事業の概要	<p>○いじめ防止講演会（講師謝金、消耗品費） 参加者：56人 39千円</p> <p>開催日：令和3年12月8日（水）</p> <p>対象：市民、教職員、PTA</p> <p>講師：聖母の小さな学校 梅澤 良子 先生</p> <p>会場：アグリセンター大宮</p>		<p>○京丹後市こどもSNS（LINE）相談窓口設置 1,430千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム導入委託料 264千円 ・研修業務委託料（SNS相談の手順と留意点） 165千円 ・システム保守委託料 385千円 ・システム使用料 616千円 <p>相談開始日：令和3年8月25日</p> <p>相談日時：平日16時～21時</p> <p>相談対象：市内に居住する小中学生</p> <p>対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士</p> <p>登録数：66人 相談延べ件数：23件</p> <p>※いじめ相談件数：2件</p>					
	<p>○いじめ防止街頭啓発</p> <p>京丹後市こどもSNS相談やフリーダイヤルが掲載されているポケットティッシュを配布</p> <p>実施日：令和3年11月18日（木）</p> <p>場所：ショッピングセンターマイン</p>							
	<p>○いじめ相談専用電話設置（備品購入費、通信運搬費） 54千円</p> <p>フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料</p> <p>スマートフォン購入費、機種交換手数料</p> <p>相談受付：24時間対応</p> <p>対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士</p> <p>※いじめ相談件数：0件</p>		<p>成果・課題</p> <p>○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、いじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を促すことができた。</p> <p>○SNS窓口の設置により相談への敷居が下がり、いじめを含め幅広い相談を受けることができた。</p> <p>○SNS等を介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。</p> <p>○SNS相談窓口の周知など、引き続き、相談しやすい環境づくりに努める必要がある。</p>					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 249千円	最終予算額 374千円	不用額 125千円	執行率	部 教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				66.5 %	
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	
	事業	17 いじめ防止対策等運営事業				374千円	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源				
目的	いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。						
主要な事務・事業の概要	○いじめ問題対策連絡会議経費（委員数：21人） 17千円 保育所、こども園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。 開催日：令和3年7月6日（火） 会場：京丹後市役所峰山庁舎		○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人） 232千円 いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、会議を開催するなど、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する助言を受けた。 開催日：第1回 令和3年10月30日（土） 第2回 令和4年3月12日（土） 会場：京丹後市役所大宮庁舎				
	・報償費（委員謝金） 16千円 ・旅費（費用弁償） 1千円		・報酬 126千円 ・旅費（普通旅費・費用弁償） 98千円 ・消耗品費 8千円		成果・課題 ○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめ防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。 ○いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こり得ることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。 ○いじめの解決に向けた組織連携や見立ての在り方について、事例研修を行う中で各小中学校の対応力をさらに高める必要がある。		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	42,202千円	42,791千円	589千円	(参考)当初予算額	46,537千円	98.6 %	課	学校教育課		
	目	02 事務局費										
	事業	18 学校情報化推進事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		国補	地方創生推進交付金		100千円		国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		10,000千円	
目的	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、ICTを活用した学習環境を推進する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	<p>市内小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、児童・生徒・教職員用タブレット、情報教室用パソコン及びサーバー機器の維持管理を行うとともに、ウイルス対策を行った。また、小中学校の普通教室及び、特別支援教室に整備した電子黒板等の維持管理及び利用促進を行った。</p>				○委託料		14,246千円					
	<p>○報償金 199千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師謝金 プログラミング教育講習、情報セキュリティモラル等に係る研修会 <p>○需用費 2,711千円</p> <ul style="list-style-type: none"> パソコン・校内LAN関連消耗品 15千円 パソコン・校内LAN関連修繕費（26件） 2,696千円 <p>○役務費 1,545千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信運搬費 1,215千円 手数料（電子黒板移設） 330千円 				<ul style="list-style-type: none"> サーバーシステム・パソコン・校内LAN保守委託料 1,743千円 産業廃棄物処理委託料（パソコン・サーバー等） 458千円 校務支援システム保守委託料 729千円 ICT支援員業務委託料（5人） 11,316千円 <p>○使用料及び賃借料 23,501千円</p> <ul style="list-style-type: none"> パソコン借上料 18,887千円 サーバーシステム借上（8台） 校務用パソコン借上（580台） ソフトウェア使用料 4,614千円 校務支援システム、ウイルス対策ソフト（1,556台分）ほか 				<p>○ネットワークを利用した遠隔操作などにより、小中学校等に整備した校内LAN、1,802台のパソコン（校務、普通教室、情報教室、タブレット）、電子黒板及びサーバー機器、並びにGIGAスクール情報機器等整備事業にて導入した4,252台のタブレット、50台のプリンタ、151台の電子黒板接続装置等の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。</p> <p>○引き続き、ICT支援員を適切に配置しながら、児童・生徒・教職員のICT機器や授業支援システムを積極的に利活用し、授業改善につなげていく必要がある。</p>			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 44千円	最終予算額 160千円	不用額 116千円	執行率	部 教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				27.5 %	
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課 学校教育課
	事業	19 児童生徒国際交流事業				5,478千円	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金		6千円		
目的	国際交流事業を推進することにより、語学力の向上はもとより、国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成する。		主な財源				
主要な事務・事業の概要	<p>○小中学生文化体験 37千円</p> <p>小中学生を対象とした異文化理解・国際交流プログラムを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTによる英語活動体験 <p>対象者：小学3～6年生 実施日：令和3年8月8日（日） 参加人数：45人</p> <ul style="list-style-type: none"> フィリピンとのオンライン交流 <p>対象者：中学1年生 実施日：令和3年10月14日（木）、10月21日（木）、11月4日（木）、11月11日（木） ※事前研修2回を含む全4回で開催 参加人数：19人</p>		<p>○中学生のオンラインホームステイ事業 7千円</p> <p>コロナ禍において、海外派遣事業の実施が困難な中で、語学力の向上及び国際的視野を広めることを目的にオンラインホームステイ事業を実施。 (全体研修を5回、各家庭でのフィリピンとのオンライン交流を複数回実施)</p> <p>事業期間：令和4年2月21日（月）～3月28日（月） 参加生徒：中学2年生 15人</p> <ul style="list-style-type: none"> 報償物品 3千円 通信運搬料 4千円 				
	成果・課題	<p>○小中学生の文化体験を行い、国際交流事業を推進することにより語学力の向上及び国際的視野をもった人材を育成することができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、予定した海外派遣は実施できなかったが、オンラインによる交流を実施し、生徒の国際的視野を広げることができた。</p> <p>○国際的視野をもった児童生徒を育成するため、国際交流事業の充実を図る必要がある。</p>					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	01 教育総務費				97.1 %					
	目	02 事務局費				1,883千円	1,938千円	55千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	20 国際交流員招致事業							5,168千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源								
目的	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。										
主要な事務・事業の概要	<p>国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性で見識や経験を活かした指導、助言を行った。</p> <p>○会計年度任用職員任用経費（国際交流員 1人） 1,176千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 1,033千円 （期間：令和3年11月8日から令和4年2月24日） ・共済費（社会保険料、雇用保険料） 143千円 <p>○招致にかかる経費 9千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費 3千円 ・有料道路通行料 5千円 ・駐車場使用料 1千円 <p>○国際交流員の賃貸住宅に係る経費 155千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居の火災保険料、仲介手数料、礼金 149千円 ・消耗品費 6千円 			<p>○自治体国際化協会負担金 543千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来日直後オリエンテーション参加費用負担金 253千円 ・国際交流員人員割、傷害保険負担金 110千円 ・来日渡航費用負担金 180千円 							
				成果・課題	<p>○新型コロナウイルス感染症の世界的な感染状況から入国制限等により国際交流員の確保が難しい中、予定通りの期間とはならなかったが国際交流員を配置し、その専門性や経験を活かし国際理解教育の推進を図ることができた。</p> <p>○継続的な活用のため、国際交流員の心身の負担を軽減できるよう生活面におけるサポートの充実が必要である。</p>						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 226千円	最終予算額 231千円	不用額 5千円	執行率	部 教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				97.8 %	
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	
	事業	21 共同学校事務室運営事業				231千円	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源				
目的	学校事務処理の適正化及び標準化、効率化、学校マネジメント機能の強化等を図るため、共同学校事務室を設置し、学校の教育力・組織力の向上を推進する。						
主要な事務・事業の概要	○共同学校事務室運営経費 226千円 令和3年度は、平成30年度より実践研究校として取り組んできた網野学園（網野中・網野北小・網野南小・島津小・橘小）において先行して共同学校事務室を設置。						
	【網野学園における共同実施業務】 学校経営全体に関わる業務（各種文書の収受発出など情報管理） 教職員人事に関する業務（給与、旅費、福利厚生、服務等に関する業務） 教育活動に直接関係する業務（学校予算、備品、就学援助等に関する業務） そのほか校内体制に応じて参画する業務 等						
・消耗品費 174千円 ・印刷製本費 30千円 ・役務費（通信運搬費） 22千円							
				成果・課題	○異なる様式や処理方法を統一し共有することで、学校事務の標準化を進めることができた。 ○事務処理状況の確認や、帳簿類の相互チェックを行い、事務の適正な執行を図るとともに、事務職員のスキルアップにつなげることができた。 ○役割を分担し、学校規模による事務量の差を調整することで、安定した学校事務に取り組むことができた。 ○令和4年度から全学園に共同学校事務室を設置するため、網野学園共同学校事務室の成果を共有していくことが重要である。		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	01 教育総務費						7,169千円	7,882千円	713千円	90.9 %	課	教育総務課
	目	02 事務局費									(参考)当初予算額		
	事業	50 事務局一般経費											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金	360千円							
目的	教育委員会事務局の円滑な運営及び公用車の適正な維持管理を行うとともに、全国部活動特別入学者選抜により市内の高等学校に入学する生徒を応援する補助金を創設し、生徒の就学支援及び地域の活性化を図った。			諸収入	市有自動車損害共済金	32千円							
主要な事務・事業の概要	○事務局運営に係る経費		5,461千円	○高等学校全国募集入学生応援補助金		360千円							
	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員任用経費（事務補助2人） 4,564千円 ・教育委員会活動点検評価謝金（2人） 40千円 ・各種協議会等出張旅費（教育長、職員等） 101千円 ・激励金（5団体、個人19人） 340千円 （スポーツ等の国際大会・全国大会に出場する選手を激励 カーンほか8競技） ・書籍、消耗品費ほか 416千円 			<ul style="list-style-type: none"> ・月額15,000円×12月×2人 ・対象校：京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎） ・部活動名：レスリング部 									
	○公用車の維持管理経費		1,260千円										
○各協議会、団体への負担金		88千円											
全国都市教育長協議会負担金、定時制通信教育振興会負担金、 京都府都市教育長協議会参加負担金、安全運転管理者講習会負担金			成果・課題 ○全国部活動特別入学選抜により、市内の高等学校に入学した生徒の下宿等に係る経済的負担軽減を図るとともに、生徒の就学支援をはじめ、地域で培われたスポーツ風土を生かした部活動を応援することで人材の育成及び地域の活性化に寄与することができた。 ○教育委員会事務局の運営及び公用車管理について、経費削減に努めながら効率的な執行ができた。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	01 教育総務費							24,805千円	25,093千円	288千円	98.8 %
	目	03 外国語活動推進費										(参考)当初予算額
	事業	01 外国語指導助手招致事業										28,984千円
課	教育総務課											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	自治体国際化協会（JETプログラム）の斡旋を受け、外国語指導助手（ALT）を招致・任用し、小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。											
主要な事務・事業の概要	<p>新規ALT3人が、新型コロナウイルス感染症拡大のため渡航制限を受け、来日が延期されたため、着任するまでの間、代替として英語を母国語とするかたをスクールサポーターとして任用した。</p> <p>○外国語指導助手（会計年度任用職員）任用経費（6人分） 19,199千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬、費用弁償 16,573千円 社会保険料、労災保険料、雇用保険料 2,626千円 <p>○スクールサポーター（会計年度任用職員）任用経費（3人分） 2,683千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬、費用弁償 2,374千円 社会保険料 309千円 <p>○外国語指導助手支援員（会計年度任用職員）任用経費（1人分） 55千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬、費用弁償 <p>○外国語指導助手等の旅費 196千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 帰国旅費（1人） 170千円 旅費、有料道路、駐車場使用料（職員） 26千円 			<p>○外国語指導助手の賃貸住宅に係る経費 696千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 鍵交換費用ほか（峰山、大宮町域） 23千円 アパート仲介、ごみ処理手数料（久美浜町域） 59千円 住宅火災保険（峰山、大宮、久美浜町域） 76千円 敷金礼金、更新手数料（峰山、大宮、丹後、久美浜町域） 538千円 <p>○負担金 1,976千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体国際化協会負担金 1,224千円 来日後オリエンテーション参加負担金（3人分） 752千円 								
	成果・課題	<p>○日本人の外国語教諭のサポート並びにEnglishDaysやオンライン留学などの事業において一役を担っている。また、国際理解教育の促進などALTの果たす役割が期待されており、今後もALTの継続的な確保が必要である。</p> <p>○切れ目のない継続的な活用のため、ALTの心身の負担を軽減する生活支援等の充実が必要である。</p>										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	6,011千円	6,055千円	44千円	(参考)当初予算額	13,695千円	99.2 %				
	目	04 奨学費										
	事業	01 奨学金事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	繰入金	奨学基金繰入金			1,368千円				
				繰入金	谷口謙・未来応援基金繰入金			4,492千円				
目的	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。											
主要な事務・事業の概要	<p>経済的に困窮している世帯（家庭）で勉学意欲のある大学生等を対象に奨学金を給付した。また、令和3年度大学等在学者及び令和4年度大学等進学予定者を対象に、奨学金の貸付を行った。</p> <p>○奨学金選考・検討委員会経費（2回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員報酬 4千円（半日）× $\left[\begin{array}{l} 6人 \times 1回 \\ 7人 \times 1回 \end{array} \right]$ 費用弁償 <p>○給付奨学金</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学生等（11人） <ul style="list-style-type: none"> 月額12千円×12月×2人（前・後期） 月額10千円×12月×9人（前・後期） 		63千円	52千円	11千円	1,368千円	288千円	1,080千円				
	<p>○貸付奨学金</p> <ul style="list-style-type: none"> 修学支援金（6人） <ul style="list-style-type: none"> 大学生等 1,000千円×3人 大学生等 280千円×2人 大学生等 232千円×1人 入学支度金（1人） <ul style="list-style-type: none"> 進学予定者 700千円×1人 <p>○定住促進奨学金返還支援補助金の制度周知経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報チラシ印刷製本費 大学等へのチラシ送料 <p>※認定申請者 143人（令和4年3月31日現在）</p>		4,492千円	3,792千円	700千円	88千円	35千円	53千円				
成果・課題	<p>○勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により経済状況が一層厳しい中で、給付奨学金の随時申請や奨学金返還猶予など制度を周知し、支援に努めた。</p> <p>○令和3年度に創設した定住促進奨学金返還補助事業について、制度周知に努めた結果、多くの申請につながった。</p>											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局												
	項	01 教育総務費							895千円	896千円	1千円	(参考)当初予算額								
	目	04 奨学費																		
	事業	02 奨学基金											12千円							
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	財産収入 奨学基金利子収入		40千円														
目的	経済的理由により大学等への修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的とした奨学基金への積立金			諸収入 奨学資金貸付償還金滞納繰越分		855千円														
主要な事務・事業の概要	○奨学基金積立金		855千円																	
	・旧網野町で貸し付けた奨学資金償還金分																			
	○奨学基金積立金（利子分）		40千円																	
		(単位：千円)																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">令和2年度末 現在高 ①</th> <th colspan="3">令和3年度中増減額</th> <th rowspan="2">令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)</th> </tr> <tr> <th>繰入金 ②</th> <th>運用利子 ③</th> <th>積立金 ④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>136,862</td> <td>1,368</td> <td>40</td> <td>855</td> <td>136,389</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度末 現在高 ①	令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	136,862	1,368	40	855	136,389				
令和2年度末 現在高 ①	令和3年度中増減額				令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)															
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④																	
136,862	1,368	40	855	136,389																
		(充当：1事業)																		
		・奨学金事業		1,368千円																
				成果・課題																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局														
	項	01 教育総務費							3,351千円	3,351千円	0千円	(参考)当初予算額										
	目	04 奨学費																				
	事業	03 谷口謙・未来応援基金											1,460千円									
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	財産収入 谷口謙・未来応援基金利子収入		27千円																
目的	経済的理由により大学等への進学及び修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることを目的とした谷口謙・未来応援基金への積立金			諸収入 奨学資金貸付償還金		3,255千円																
主要な事務・事業の概要	○谷口謙・未来応援基金積立金		3,324千円																			
	・京丹後市貸付奨学金で貸し付けた奨学資金償還金分																					
	○谷口謙・未来応援基金積立金（利子分）		27千円																			
		(単位：千円)																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">令和2年度末 現在高 ①</th> <th colspan="3">令和3年度中増減額</th> <th rowspan="2">令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)</th> </tr> <tr> <th>繰入金 ②</th> <th>運用利子 ③</th> <th>積立金 ④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72,042</td> <td>4,492</td> <td>27</td> <td>3,324</td> <td>70,901</td> </tr> </tbody> </table>			令和2年度末 現在高 ①	令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	72,042	4,492	27	3,324	70,901					
令和2年度末 現在高 ①	令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)																		
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④																			
72,042	4,492	27	3,324	70,901																		
		(充当：1事業)																				
		・奨学金事業			4,492千円																	
					成果・課題																	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	151,908千円	153,364千円	1,456千円	(参考)当初予算額	99.0%					
	目	01 小学校管理費					152,455千円	課	学校教育課			
	事業	02 小学校管理運営事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	寄附金	ふるさと応援寄附金		100千円					
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。			諸収入	学校施設改修工事等電気水道利用負担金		19千円					
				諸収入	小学校施設光熱水費利用負担金		18千円					
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（作業員13人）		33,862千円	○使用料及び賃借料		1,567千円						
	・報酬		23,411千円	・テレビ受信料、ガス警報器使用料		246千円						
	・会計年度任用職員期末手当		4,741千円	・コピー機借上料、印刷機借上料		1,321千円						
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）		4,493千円	（うち、コピー機5台/7台中、印刷機7台/7台中を更新）								
・費用弁償		1,217千円	○備品購入費		3,066千円							
○需用費		107,174千円	・電話機、特別支援学級備品、ストーブほか									
・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか）		31,724千円	（うち、ふるさと応援寄附金充当額100千円 ※高龍小テント購入代）									
・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか）		420千円	○負担金、補助及び交付金		581千円							
・電気代		51,597千円	・校長会、教頭会、教務主任会ほか各種団体負担金									
・水道料		22,879千円										
・修繕費（印刷機等の修繕）		554千円										
○役務費		5,174千円	成果・課題	○教育環境の整備や維持管理など、児童が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○老朽化した印刷機器を更新し、校務の効率化を推進した。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。								
・電話代、郵送料		3,679千円										
・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）		1,495千円										
○委託料		484千円										
・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	70,973千円	70,977千円	4千円	(参考)当初予算額	99.9%	課	教育総務課			
	目	01 小学校管理費										
	事業	03 小学校施設改修事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実											
目的	小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。		主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）		11,793千円					
		市債		小学校施設整備事業債（過疎対策費）		50,000千円						
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校トイレ洋式化工事（網野北・島津） <ul style="list-style-type: none"> ・工事監理委託料 2,052千円 ・工事請負費 53,573千円 ・仮設トイレ借上料、汲取手数料 96千円 ○いさなご小学校職員室エアコン改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 726千円 ○橋小学校特別支援室エアコン設置工事 <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 1,171千円 ○その他工事請負費 7,112千円 <ul style="list-style-type: none"> ・網野南小学校高圧ケーブル更新工事 1,023千円 ・いさなご小学校高圧気中開閉器改修工事 405千円 ・久美浜小学校揚水ポンプ改修工事ほか11件 5,684千円 		<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度工事に向けた業務委託 6,227千円 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校トイレ洋式化等工事実施設計業務（峰山・長岡） ○調査委託料 16千円 <ul style="list-style-type: none"> ・いさなご小学校落雷解析データ調査 									
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○網野北、島津各小学校のトイレ洋式化工事を行うなど、児童の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。 										

予 算 科 目	款	10 教育費	9,538千円	25,440千円	15,902千円	執行率	部 教育委員会事務局				
	項	02 小学校費				37.4 %					
	目	01 小学校管理費				(参考)当初予算額					
	事業	04 児童教職員健康管理事業				10,166千円		課 学校教育課			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主 な 財 源	国補	学校保健特別対策事業費補助金(1/2)	864千円					
目	児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講ずることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。			府負	フッ素による子どものむし歯予防事業費補助金(1/2)	19千円					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○需用費(保健衛生消耗品、修繕料、医薬材料) (うち感染症対策に要した消耗品等 744千円)		1,988千円	○使用料及び賃借料		1,033千円					
	○委託料		5,169千円	・自動車借上料(検診時医師送迎用ほか)		51千円					
	・児童検診委託料		3,790千円	・機械器具借上料(AEDリース料・17校分)		982千円					
	心臓検診委託料 1次 796人 (1・4年、経過観察者)			○備品購入費(感染症対策)		1,348千円					
	2次 102人			CO ₂ モニター、空気清浄機ほか							
	眼科検診委託料 2,332人			<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>9,690千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>98.4%</td> </tr> </table>		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	9,690千円		実質的な予算執行率	98.4%
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	9,690千円								
		実質的な予算執行率	98.4%								
	耳鼻科検診委託料 2,332人										
	尿検査委託料(春) 1次 2,340人 2次 61人			■令和4年度への繰越事業		15,750千円					
尿検査委託料(秋) 1次 2,343人 2次 57人			小学校新型コロナウイルス感染症対策事業		令和5年3月完了予定						
脊柱側湾症検診委託料 7人 (校医抽出者)			成 果 ・ 課 題	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなどし、児童及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。 ○市内全小学校においてフッ化物洗口を実施し、児童のむし歯予防の環境を整えることができた。							
結核検診料 3人											
・教職員健康診断委託料		1,177千円									
・教職員結核検診委託料		202千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	13,924千円	14,050千円	126千円	99.1 %		
	目	01 小学校管理費				(参考)繰越予算額	課	学校教育課
	事業	04 児童教職員健康管理事業（繰越）				14,050千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		国補	学校保健特別対策事業費補助金（1/2）			6,944千円	
目的	新型コロナウイルス感染症による感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するためにも、学校における感染症対策及び児童の学びの保障に必要な体制を整備する。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	○需用費 4,571千円 ・消耗品費（手指消毒液、消毒用ビニール手袋ほか） 3,082千円 ・修繕料（水道蛇口のレバーハンドル化ほか） 1,489千円 ○備品購入費 8,835千円 ・備品購入費（空気清浄機、サーモグラフィー、CO ₂ モニターほか） ○負担金、補助及び交付金 518千円 ・修学旅行等新型コロナウイルス感染症対策費補助金 （該当校：大宮第一小学校、丹後小学校、宇川小学校、高龍小学校 計4校） 補助内容：新型コロナウイルス感染症の感染対策（密対策）として、修学旅行における貸切バスの増台及び車両変更に要した経費を補助。							
	成果・課題	国の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、持続的に児童の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及び拡大のリスクに対処したうえで、学校運営を継続していくことができた。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 小学校費							88,791千円	89,700千円	909千円	98.9 %	
	目	01 小学校管理費											(参考)当初予算額
	事業	05 小学校スクールバス運行管理事業											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実												
目的	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた児童の通学のためにスクールバスを運行する。		主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 65,000千円									
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料 88,402千円												
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託												
	いさなご小	3台		橘小	1台	弥栄小	3台						
	しんざん小	1台	島津小	1台	久美浜小	1台							
	大宮南小	3台	丹後小	4台	高龍小	4台							
網野南小	3台	宇川小	1台	かぶと山小	4台								
			計	29台									
○バス停維持管理経費 10千円													
・火災保険料、土地借上料 (15.66㎡)													
○需用費 379千円													
・消耗品費、修繕料													
成果・課題	○スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	02 小学校費				100.0 %					
	目	01 小学校管理費				283千円	283千円	0千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	06 小学校通学支援事業							271千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源								
目的	遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。										
主要な事務・事業の概要	○遠距離通学補助金		283千円								
	学校名	対象児童数	補助金額								
	大宮南小学校	7人	106千円								
	宇川小学校	11人	177千円								
	計	18人	283千円								
	成果・課題	遠距離通学をする児童を対象とした遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	02 小学校費							27,171千円	27,344千円	173千円	99.3 %
	目	01 小学校管理費										(参考)当初予算額
	事業	07 小学校施設管理事業										25,813千円
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。											
主要な事務・事業の概要	○施設等修繕費 11,805千円 ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備、遊具等の修繕		○施設修繕のための原材料、消耗品 411千円 ・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル、修繕用木材等									
	○各種検査、手数料 514千円 ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、漏水調査手数料、倒木処理手数料		○網野北小学校芝生化事業 922千円 ・芝生肥料、芝刈機用燃料、芝刈機修繕、補植用芝生及び芝生用土購入 芝生目土作業委託料									
○建物火災保険料 994千円		○施設保守管理等委託料（13業務） 12,375千円 ・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、エレベーター保守点検、給食用リフト保守点検、学校警備、プール循環保守点検、給食施設消毒等業務、雑木伐採、貯水槽等保守点検、グリストラップ処理、給排水設備保守点検										
○施設用地借上料 150千円 ・いさなご小学校（学童農園用地ほか 751.22㎡）		○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。		成果・課題								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	02 小学校費							14,953千円	20,719千円	5,766千円	72.1 %
	目	02 小学校教育振興費										(参考)当初予算額
	事業	01 小学校教育振興事業										25,176千円
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		府補	きょうと地域連携交付金（教育振興事業）		4,258千円						
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	○報償費		1,274千円		○使用料及び賃借料		868千円					
	・入学記念品（394人分）		310千円	・自動車借上料		680千円						
	・卒業記念品（415人分）		964千円	・有料道路通行料		31千円						
	○旅費		26千円	・駐車場使用料		5千円						
・費用弁償（大地の学習講師費用弁償）			・著作物使用料		152千円							
○需用費		11,338千円										
・消耗品費		11,102千円										
学用品、理科実験費、学力検査、指導書（教職員用）ほか												
・印刷製本費		236千円										
社会科副読本「わたしたちのきょうたんご」437部 ※3・4年生用												
○委託料		1,447千円										
・スクールバス定期外運行運転委託料												
			成果・課題	<p>学校内での学習活動に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、可能な限り、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。</p>								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	11,010千円	11,432千円	422千円	(参考)当初予算額	11,385千円	96.3 %				
	目	02 小学校教育振興費										
	事業	02 小学校教育振興備品整備事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実									課	学校教育課	
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。	主な財源	国補	理科教育設備整備費等補助金（1/2）					1,220千円			
			府補	きょうと地域連携交付金（教育振興事業）					2,460千円			
			寄附金	ふるさと応援寄附金					200千円			
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p>											
	○需用費	201千円							○備品購入費	10,621千円		
	・修繕料（教材備品の修繕）							・教材備品整備	4,382千円			
	○役務費	22千円						・学校図書整備	3,550千円			
	・家電リサイクル料（テレビ1台、冷蔵庫2台）							（うち、ふるさと応援寄附金充当額 200千円）				
	○使用料及び賃借料	166千円						・理科・算数備品整備	2,689千円			
	・ソフトウェア使用料（全小学校分） （学校図書室蔵書管理システム用）											
			成果・課題	令和2年度に改訂された新学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	19,704千円	19,800千円	96千円	(参考)当初予算額	99.5%					
	目	02 小学校教育振興費					課	学校教育課				
	事業	03 小学校就学援助事業					22,744千円					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	国補					就学援助費補助金(1/2)	54千円	国補	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	738千円	諸収入
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	○就学援助費 18,202千円 ・要保護認定者 12人(R2:13人) 108千円 修学旅行費 82千円 医療費 26千円 ・準要保護認定者 254人(R2:254人) 16,275千円 学用品費等 4,270千円 給食費 10,806千円 修学旅行費 1,155千円 医療費 44千円 ・準要保護認定者(被災児童) 1人(R2:2人) 83千円 学用品費等 17千円 給食費 40千円 修学旅行費 26千円 ※申請者数 283人(R2:298人) 認定者数 264人(R2:267人) ・令和4年度新入学児童生徒学用品費入学前支給分 1,736千円 支給者数 34人 ※令和4年2月21日支給		○特別支援教育就学奨励費 1,502千円 ・対象者 45人(R2:53人) 学用品費等 378千円 給食費 1,001千円 修学旅行費 123千円		成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により家計が変化した世帯も含め、制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																				
	項	02 小学校費							60,282千円	60,928千円	646千円	98.9%																																
	目	02 小学校教育振興費										(参考)当初予算額																																
	事業	04 小学校スクールサポート等設置事業										72,396千円																																
課	学校教育課	19,040千円																																										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		府補 きょうと地域連携交付金（スクールサポート等設置事業）																																									
目的	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。		主な財源																																									
主要な事務・事業の概要	○介護職員 27人（1日7時間、週5日勤務） ○講師 1人（1日7時間、週5日勤務） ○スクールサポーター28人（会計年度任用職員）任用経費 60,275千円 ・報酬 40,900千円 ・期末手当 8,419千円 ・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 8,754千円 ・費用弁償 2,202千円 ○事務費（校外学習引率に伴う旅費、入場料、参加負担金等） 7千円			配置一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>学校名</th> <th>介護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山小</td> <td>5人</td> <td>橘小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>しんざん小※</td> <td>2人</td> <td>丹後小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>長岡小</td> <td>1人</td> <td>吉野小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>大宮第一小</td> <td>4人</td> <td>弥栄小</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>大宮南小</td> <td>2人</td> <td>久美浜小</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>網野北小</td> <td>2人</td> <td>高龍小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>網野南小</td> <td>3人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>島津小</td> <td>1人</td> <td>計</td> <td>28人</td> </tr> </tbody> </table> ※講師1人含む					学校名	介護	学校名	介護	峰山小	5人	橘小	1人	しんざん小※	2人	丹後小	1人	長岡小	1人	吉野小	1人	大宮第一小	4人	弥栄小	2人	大宮南小	2人	久美浜小	2人	網野北小	2人	高龍小	1人	網野南小	3人			島津小	1人	計	28人
	学校名	介護	学校名	介護																																								
峰山小	5人	橘小	1人																																									
しんざん小※	2人	丹後小	1人																																									
長岡小	1人	吉野小	1人																																									
大宮第一小	4人	弥栄小	2人																																									
大宮南小	2人	久美浜小	2人																																									
網野北小	2人	高龍小	1人																																									
網野南小	3人																																											
島津小	1人	計	28人																																									
成果・課題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。																																											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	1,232千円	1,574千円	342千円	(参考)当初予算額	78.2 %					
	目	02 小学校教育振興費										
	事業	05 小学校教育推進活動実践事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実											
目的	府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。		主な財源	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（1/2）				166千円			
				府委	次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金（10/10）				100千円			
主要な事務・事業の概要	<p>○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動（講師謝金、消耗品費等）</p> <p style="text-align: right;">833千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府補助事業） 336千円 ・総合的な学習活動推進事業（市単独事業：全校で実施） 497千円 <p>○次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業（消耗品費） 100千円</p> <p>実施校：いさなご小学校・しんざん小学校 実施年度：令和2年度～4年度（3か年）</p> <p>○教育研究事業負担金 146千円</p> <p>京丹後市小学校教育研究会 小学校教育に関する研究を推進し、小学校教育の充実・発展と教職員の資質の向上を図るため、各教科の研究、研修会等を実施。</p>		<p>○修学旅行引率補助金 153千円</p> <p>小学校17校 引率教員65人</p>		成果・課題	<p>○地域社会における仕事や文化の体験活動を通して、キャリア教育を推進するとともに、府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上を図り、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。</p> <p>○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。</p>						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	03 中学校費							64,079千円	66,373千円	2,294千円	96.5 %
	目	01 中学校管理費										(参考)当初予算額
	事業	02 中学校管理運営事業										64,840千円
課	学校教育課	諸収入		学校施設改修工事等電気水道利用負担金		11千円						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。											
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（作業員6人）		11,913千円	○委託料		288千円						
	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 8,286千円 ・会計年度任用職員期末手当 1,748千円 ・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 1,418千円 ・費用弁償 461千円 			<ul style="list-style-type: none"> ・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料 								
○需用費		46,152千円	○使用料及び賃借料		505千円							
<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか） 14,035千円 ・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか） 217千円 ・電気代 24,069千円 ・水道料 7,688千円 ・修繕費（印刷機等の修繕） 143千円 			<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ受信料、ガス警報器使用料 88千円 ・コピー機借上料等 417千円 									
○備品購入費			○負担金、補助及び交付金		1,786千円							
<ul style="list-style-type: none"> ・保健器具、特別支援学級備品、ストーブほか 			<ul style="list-style-type: none"> ・校長会、教頭会、教務主任会ほか各種団体負担金 980千円 									
○役務費		2,455千円	成果・課題	○教育環境の整備や維持管理など、生徒が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。								
<ul style="list-style-type: none"> ・電話代、郵送料 1,662千円 ・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか） 793千円 												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	210,763千円	210,844千円	81千円	(参考)当初予算額 236,800千円	99.9 %	課	教育総務課			
	目	01 中学校管理費										
	事業	03 中学校施設改修事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	学校施設環境改善交付金(1/3)	61,211千円	市債	中学校施設整備事業債(過疎対策債)	145,400千円			
目的	中学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。											
主要な事務・事業の概要	○中学校特別教室空調化工事		205,782千円									
	(6中学校の音楽室、美術室、理科室 24室)											
	・工事監理委託料		4,675千円									
	・工事請負費		201,107千円									
	○大宮中学校コンピューター室エアコン更新工事		878千円									
	・工事請負費											
	○その他工事請負費		4,103千円									
	・大宮中学校体育館壁用スピーカー取替工事		418千円									
・丹後中学校校長室エアコン改修工事		451千円										
・久美浜中学校図書室エアコン更新工事		541千円										
・弥栄中学校理科室洗い場シンク改修工事		693千円										
・弥栄中学校トイレ改修及び手摺設置等工事		1,120千円										
・網野中学校防球ネット取替工事		880千円										
成果・課題									<p>○生徒の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。</p> <p>○「新しい生活様式」を踏まえ、健やかに学習、生活できる環境整備を進めるため、6中学校の特別教室空調化工事を実施することができた。</p> <p>○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。</p>			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 4,921千円	最終予算額 10,000千円	不用額 5,079千円	執行率	部 教育委員会事務局
	項	03 中学校費				49.2 %	
	目	01 中学校管理費				(参考) 繰越予算額	課 教育総務課
	事業	03 中学校施設改修事業(繰越)				10,000千円	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源 市債	中学校施設整備事業債(合併特例債)		4,600千円	
目的	「新しい生活様式」を踏まえ、健やかな学びの保障を目指すため、新型コロナウイルス感染症対策として特別教室の空調化設計を行い、教育環境を整備する。						
主要な事務・事業の概要	○中学校特別教室空調化工事 6中学校の音楽室、美術室、理科室 24室の工事設計委託料		4,921千円				
	成果・課題	「新しい生活様式」を踏まえ、学校においても感染症対策と児童生徒が健やかに学習、生活できる環境整備を整えるため、6中学校の特別教室空調化に向けた設計業務を行うことができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 6,393千円	最終予算額 12,285千円	不用額 5,892千円	執行率 52.0 % (参考)当初予算額 7,115千円	部	教育委員会事務局							
	項	03 中学校費						学校教育課							
	目	01 中学校管理費					国補 学校保健特別対策事業費補助金(1/2) 344千円								
	事業	04 生徒教職員健康管理事業													
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実														
目的	生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講ずることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。		主な財源												
主要な事務・事業の概要	○需用費(保健衛生消耗品、修繕料、医薬材料) (うち感染症対策に要した消耗品 212千円)		812千円		○備品購入費 (うち感染症対策に要した備品分 688千円) CO ₂ モニター、サーモグラフィー ほか		688千円								
	○委託料 ・生徒検診委託料 心臓検診委託料 1次 471人 (1年、経過観察者) 2次 106人 眼科検診委託料 1,305人 耳鼻科検診委託料 1,306人 尿検査委託料(春) 1次 1,316人 2次 121人 尿検査委託料(秋) 1次 1,311人 2次 78人 血液検査委託料 443人 (2年、経過観察者) 脊柱側わん症検診委託料 10人 (校医抽出者) ・教職員健康診断委託料 792千円 ・教職員結核検診委託料 151千円		4,222千円 3,279千円		<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>6,435千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.3%</td> </tr> </table>		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,435千円		実質的な予算執行率	99.3%	<table border="1"> <tr> <td>成果・課題</td> <td>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなどして、生徒及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。</td> </tr> </table>		成果・課題
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,435千円													
	実質的な予算執行率	99.3%													
成果・課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなどして、生徒及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。														
○使用料及び賃借料 ・自動車借上料(検診時医師送迎用) ・機械器具借上料(AEDリース料・6校分)		671千円 19千円 652千円		■令和4年度への繰越事業 中学校新型コロナウイルス感染症対策事業 令和5年3月完了予定		5,850千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	03 中学校費							5,594千円	5,650千円	56千円	99.0 %
	目	01 中学校管理費										(参考)繰越予算額
	事業	04 生徒教職員健康管理事業（繰越）										5,650千円
課	学校教育課	国補 学校保健特別対策事業費補助金（1/2）		2,797千円								
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実											
目的	新型コロナウイルス感染症による感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するためにも、学校における感染症対策及び生徒の学びの保障に必要な体制整備を促進する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	○需用費 832千円 ・消耗品費（手指消毒液、消毒用ビニール手袋ほか）											
	○備品購入費 4,762千円 ・備品購入費（空気清浄機、サーマルカメラ、CO ₂ モニターほか）											
				成果・課題		国の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、持続的に生徒の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及び拡大のリスクに対処したうえで、学校運営を継続していくことができた。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	03 中学校費							71,704千円	73,542千円	1,838千円	97.5 %											
	目	01 中学校管理費										(参考)当初予算額											
	事業	05 中学校スクールバス運行管理事業										96,076千円	課	学校教育課									
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		国補	へき地生徒援助費補助金 (1/2)		3,750千円																	
目的	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた生徒の通学のためにスクールバスを運行する。		主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金		55,000千円																
				市債	中学校スクールバス整備事業債 (過疎対策債)		4,400千円																
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料		63,215千円	○スクールバス購入に係る経費		8,243千円																	
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託			(久美浜中学校スクールバス29人乗り 1台)																			
	<table border="1"> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>(1台)</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>10台</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17台(18台)</td> </tr> </table>		峰山中学校	1台	大宮中学校	(1台)	網野中学校	3台	丹後中学校	2台	弥栄中学校	1台	久美浜中学校	10台	計	17台(18台)		<ul style="list-style-type: none"> ・備品購入費 ・手数料、保険料、自動車重量税等 		8,197千円	46千円		
	峰山中学校	1台																					
大宮中学校	(1台)																						
網野中学校	3台																						
丹後中学校	2台																						
弥栄中学校	1台																						
久美浜中学校	10台																						
計	17台(18台)																						
※大宮中の車両は、大宮南小スクールバスの大宮中生徒対象分																							
○車両維持管理経費		110千円																					
<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、修繕料 																							
○バス停・車庫維持管理経費		136千円			成果・課題	○スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○老朽化したスクールバスを更新し、久美浜中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。																	
<ul style="list-style-type: none"> ・燃料費、火災保険料 																							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	03 中学校費							195千円	196千円	1千円	99.4 %
	目	01 中学校管理費										(参考)当初予算額
	事業	06 中学校通学支援事業										194千円
課	学校教育課											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。											
主要な事務・事業の概要	○通学用ヘルメット購入補助金（補助率1/2）		195千円									
	学校名	対象生徒数	補助金額									
	峰山中学校	105人	94千円									
	大宮中学校	44人	40千円									
	網野中学校	19人	17千円									
	丹後中学校	11人	10千円									
	弥栄中学校	31人	28千円									
	久美浜中学校	7人	6千円									
計	217人	195千円										
成果・課題	自転車通学をする生徒を対象としたヘルメットの購入支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	03 中学校費							9,548千円	9,611千円
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額			
	事業	07 中学校施設管理事業					9,148千円	課		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源							
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。									
主要な事務・事業の概要	○施設等修繕費 ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕		3,672千円	○施設修繕のための原材料、消耗品 ・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル、修繕用木材等					202千円	
	○各種検査、手数料 ・貯水槽法定検査、倒木処理手数料		79千円							
	○建物火災保険料		548千円							
	○施設保守管理等委託料（9業務） ・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、雑木伐採、電気設備保守管理、給食用リフト保守点検、学校警備、給食施設消毒等業務、貯水槽保守点検、グリストラップ処理		3,590千円							
	○施設用地借上料 ・弥栄中学校（給食棟、テニスコート用地 4,922㎡）		1,457千円							
			成果・課題	○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	20,735千円	21,134千円	399千円	98.1 %		
	目	02 中学校教育振興費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	01 中学校教育振興事業				28,147千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		府補	きょうと地域連携交付金（教育振興事業）			6,018千円	
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	○報償費 ・入学記念品（441人分） ・卒業記念品（448人分）		1,101千円 253千円 848千円	○使用料及び賃借料 ・著作物使用料		129千円		
	○需用費 ・消耗品費 学用品、理科実験費、学力検査、指導書（教職員用）ほか ・印刷製本費 社会科副読本「京丹後市の歴史」470部 ※令和4年度入学の新中学1年生用		9,444千円 9,109千円 335千円	○負担金、補助及び交付金 ・体育大会等選手派遣費補助金		2,867千円		
○役務費 ・楽器（ティンパニ、チューバほか）運搬手数料（峰山中学校）		30千円	成果・課題		学校内での学習活動に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、可能な限り、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。			
○委託料 ・スクールバス定期外運行運転委託料		7,164千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	8,418千円	8,585千円	167千円	(参考)当初予算額	8,406千円	98.0 %				
	目	02 中学校教育振興費										
	事業	02 中学校教育振興備品整備事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	理科教育設備整備費等補助金(1/2)				390千円			
				府補	きょうと地域連携交付金(教育振興事業)				2,233千円			
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。			寄附金	ふるさと応援寄附金				300千円			
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p> <p>また、音楽備品については、適正な維持管理を行うとともに計画的に整備した。</p>			<p>○備品購入費 7,703千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材備品 3,049千円 学校図書 1,678千円 (うち、ふるさと応援寄附金充当額 300千円) 理科備品 962千円 音楽備品 2,014千円 								
	<p>○需用費 321千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕料(教材備品の修繕) <p>○役務費 335千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽器調整手数料(峰山、網野、弥栄中学校分) 330千円 家電リサイクル料(テレビ1台) 5千円 <p>○使用料及び賃借料 59千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア使用料(全中学校分) (学校図書室蔵書管理システム用) 		成果・課題	令和3年度に改訂された新学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	03 中学校費							20,348千円	20,510千円	162千円	99.2 %
	目	02 中学校教育振興費										(参考)当初予算額
	事業	03 中学校就学援助事業										23,135千円
課	学校教育課											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	就学援助費補助金（1/2）		90千円					
				国補	特別支援教育就学奨励費補助金（1/2）		809千円					
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。											
主要な事務・事業の概要	○就学援助費 18,705千円 ・要保護認定者 8人（R2：11人） 181千円 修学旅行費 181千円 ・準要保護認定者 142人（R2：124人） 15,739千円 学用品費等 6,079千円 給食費 6,661千円 修学旅行費 2,993千円 医療費 6千円 ・準要保護認定者（被災児童） 1人（R2：0人） 145千円 学用品費等 100千円 給食費 45千円 ※申請者数 166人（R2：152人） 認定者数 148人（R2：136人） ・令和4年度新入学児童生徒学用品費入学前支給分 2,640千円 支給者数 44人 ※令和4年2月21日支給		○特別支援教育就学奨励費 1,643千円 ・対象者 29人（R2：23人） 学用品費等 621千円 給食費 651千円 修学旅行費 371千円		成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響で家計が変化した世帯も含め、制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																							
	項	03 中学校費							38,027千円	45,691千円	7,664千円	83.2 %																																			
	目	02 中学校教育振興費										(参考)当初予算額																																			
	事業	04 中学校スクールサポーター等設置事業										45,902千円																																			
課	学校教育課																																														
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		府補 府補	部活動指導員配置促進事業補助金(2/3)		1,754千円																																									
				きょうと地域連携交付金(スクールサポーター等設置事業)		10,991千円																																									
目的	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。		主な財源																																												
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○介護職員 3人 (1日7時間、週5日勤務) ○講師(小中一貫コーディネーター) 6人 (1日7時間45分、週4日勤務) ○心の教室相談員 3人 (1日7時間、週5日勤務) ○部活動指導員 11人 (1日1時間、年間250時間勤務) ○事務補助員 1人 (1日6時間、週5日勤務) <ul style="list-style-type: none"> ○スクールサポーター24人(会計年度任用職員)任用経費 37,812千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 26,808千円 ・期末手当 4,804千円 ・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 4,797千円 ・費用弁償 1,403千円 ○事務費(市内移動に伴う旅費) 215千円 			<p>配置一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>小中一貫 コーディネーター</th> <th>相談員</th> <th>部活動 指導員</th> <th>事務 補助員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td rowspan="7">3人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3人</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>11人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>		学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員	事務 補助員	峰山中学校	1人	1人	3人	2人	0人	大宮中学校	0人	1人	2人	0人	網野中学校	1人	1人	2人	0人	丹後中学校	0人	1人	1人	0人	弥栄中学校	1人	1人	2人	0人	久美浜中学校	0人	1人	2人	1人	計	3人	6人	3人	11人
学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員	事務 補助員																																										
峰山中学校	1人	1人	3人	2人	0人																																										
大宮中学校	0人	1人		2人	0人																																										
網野中学校	1人	1人		2人	0人																																										
丹後中学校	0人	1人		1人	0人																																										
弥栄中学校	1人	1人		2人	0人																																										
久美浜中学校	0人	1人		2人	1人																																										
計	3人	6人		3人	11人	1人																																									
成果・課題			<ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○心の教室相談員を配置し、生徒が悩みを話せる環境を整えることで、生徒の不安を和らげることができた。また、部活動指導員を配置することで、部活動の質の向上と部活担当教諭の負担軽減を図ることができた。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。 																																												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	4,077千円	4,487千円	410千円	(参考)当初予算額	90.8 %					
	目	02 中学校教育振興費					1,380千円	課	学校教育課			
	事業	05 中学校教育推進活動実践事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	3,000千円						
目的	府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。			府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（1/2）	121千円						
			府委	未来の担い手育成プログラム研究事業費委託金（10/10）	200千円							
			府委	次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金（10/10）	50千円							
主要な事務・事業の概要	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動（消耗品費等） 376千円			○教育研究事業負担金 83千円								
	・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府補助事業：全校で実施） 247千円			京丹後市中学校教育研究会								
	・総合的な学習活動推進事業（市単独事業：全校で実施） 129千円			中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。								
	○和装教育推進事業（消耗品費） 18千円			○修学旅行引率補助金 95千円								
	・着付け体験学習（全中学校） 受講生徒：452人			中学校6校 引率教員50人								
○教育実践研究指定事業（講師謝金、消耗品費） 250千円		○修学旅行キャンセル料補助金 3,255千円										
・未来の担い手育成プログラム研究校 200千円		新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた中学校2校の修学旅行を延期したことに伴う旅行代金のキャンセル料を補助（旅行代金の30%）										
実施校：弥栄中学校		大宮中学校（生徒94人・教員10人）・久美浜中学校（生徒70人・教員7人）										
実施年度：令和元年度～3年度（3か年）												
・次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業 50千円												
実施校：峰山中学校												
実施年度：令和2年度～4年度（3か年）												
成果・課題			○府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図り、コミュニケーション能力など、豊かな人間性を育む教育の推進につながった。									
			○新型コロナウイルス感染症の影響で予定をしていた修学旅行をやむを得ず延期したことにより発生したキャンセル料について市の補助金で支援することで、保護者等の経済的な負担を軽減することができた。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	04 社会教育費							474千円	520千円	46千円	91.1 %	
	目	01 社会教育総務費											(参考)当初予算額
	事業	02 社会教育委員設置事業											
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実												
目的	社会教育委員を設置し、社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うことによって、市民の声を反映した社会教育事業を推進する。	主な財源											
主要な事務・事業の概要	<p>社会教育委員会議を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議するとともに、委員の研修機会を提供した。</p> <p>○委員報酬（委員：15人、報酬対象：12人） 345千円</p> <p>○旅費（費用弁償、研修事業への参加旅費） 57千円</p> <p>○需用費（研修事業資料代、燃料費） 5千円</p> <p>○役務費（有料道路通行料、駐車場使用料） 2千円</p> <p>○負担金、補助及び交付金 65千円</p> <p>・京都府及び丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金</p>		<p><会議の主な内容>（3回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京丹後市文化芸術振興計画の策定について ・成人式の在り方について、社会体育施設の一部見直しについて ・令和4年度予算、社会教育推進の重点について ほか <p><委員研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹後地方社会教育委員連絡協議会理事・幹事会（3回：宮津市） ・丹後地方社会教育委員連絡協議会総会・研修会（6月11日：与謝野町） ・京都府社会教育委員連絡協議会総会（6月25日：綾部市） ・丹後地方社会教育委員連絡協議会・視察研修会（10月12日：豊岡市） ・京都府社会教育委員連絡協議会研究大会（11月2日：舞鶴市） 										
成果・課題	<p>○社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議し、市民の意向を反映した社会教育行政を進めることができた。</p> <p>○社会教育委員として、より自主的に活動できるように検討が必要。</p>												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費				98.8 %		
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額		
	事業	50 社会教育総務一般経費				3,321千円		
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	会計年度任用職員を配置し社会教育事業を円滑に実施するほか、女性教育活動団体に対し活動支援の補助金を交付し生涯学習の振興を図る。							
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（社会教育指導員1人） （配置先：生涯学習課）		2,967千円					
	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 2,012千円 ・職員手当 399千円 ・共済費 392千円 ・旅費 164千円 							
○事務費（消耗品費）		14千円						
○京丹后市連合婦人会活動補助金 活動内容：講演会、各種ボランティア、管外研修 ほか		361千円						
			成果・課題	○社会教育指導員の配置により、各種社会教育事業を円滑に進めることができた。 ○市連合婦人会の活動を支援することにより、女性の自主的な学習活動、ボランティア活動等の推進に寄与した。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	04 社会教育費							1,183千円	1,235千円
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額			
	事業	01 成人式開催事業					1,235千円	課		
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源							
目的	人生の節目としての式典を開催することによって、大人になったことの自覚を促すとともに、今後自らの人生を生き抜こうとする青年（新成人）を祝い激励する。									
主要な事務・事業の概要	<開催概要> ・日時 令和4年3月20日（日）※午前・午後の分散開催 ・会場 京都府丹後文化会館 ・対象 平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれの市内在住者及び市内各中学校卒業生591人（男277人、女314人） ・出席者 459人（出席率77.6%） ・内容 式典：記念式典、二十歳の主張、恩師ビデオメッセージ上映等 記念品：記念写真、慶弔用ふくさ			○委託料（式典中継配信業務委託料） 83千円 ○使用料及び賃借料（会場借上料等） 200千円						
	○報償費 813千円 ・報償物品（記念写真、慶弔用ふくさ）									
	○需用費（消耗品費、燃料費） 33千円									
	○役務費（通信運搬費） 54千円			成果・課題		○新型コロナウイルス感染予防のため、式典対象者を午前・午後に分けて分散実施するなど感染症対策を講じた。 ○当日式典の様子を、市公式YouTubeチャンネルでライブ配信し欠席者や保護者等が視聴できる機会を提供することができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	04 社会教育費							1,057千円	1,141千円	84千円	92.6 %
	目	02 社会教育推進費										(参考)当初予算額
	事業	02 青少年教育事業										1,531千円
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源									
目的	地域の青少年を守り育てる活動を支援し、将来を担う青少年の心豊かな人間の基礎づくりと健やかな成長を促す。											
主要な事務・事業の概要	<p>○京丹後市青少年健全育成会補助金 400千円</p> <p>青少年の体験活動やあいさつ運動など、青少年の健全育成に資する取組を実施する組織に対し、補助金を交付</p>											
	<p>○少年少女児童合唱団補助金（3団体） 267千円</p> <p>音楽を通して子どもたちの自分を表現する力や社会性、豊かな心を育む活動を行う団体に対し、補助金を交付</p>											
<p>○地域子ども教室補助金（3団体×130千円） 390千円</p> <p>地域の中に子どもたちの居場所を確保するとともに、さまざまな体験活動、住民との交流活動等地域全体で子どもを守り育てる活動を行う教室に対し、補助金を交付</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、3団体は年間の活動を休止した。</p>												
			成果・課題	<p>○新型コロナウイルス感染予防のため、計画通りの事業実施ができない団体もあったが、青少年の健やかな成長を促す体験活動や地域活動を支援することができた。</p> <p>○今後も市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的な青少年活動を推進する必要がある</p>								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 2,384千円	最終予算額 2,551千円	不用額 167千円	執行率	部 教育委員会事務局																																																																
	項	04 社会教育費				93.4 %																																																																	
	目	02 社会教育推進費				(参考)当初予算額																																																																	
	事業	03 高齢者教育事業				3,236千円																																																																	
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源 府補 諸収入	きょうと地域連携交付金（高齢者教育事業）		800千円	課 生涯学習課																																																																
				社会教育事業等参加料		740千円																																																																	
目的	高齢者大学の講座を市内全域で実施することによって、高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験をいかした地域活動を推進する。																																																																						
主要な事務・事業の概要	■高齢者大学 ・受講者数 720人（令和4年3月31日現在） ・実施地域 各町域（各地域公民館主管） 市全域（生涯学習課主管：百才活力学園） ・事業の概要 【一般講座及び教養講座】					○報償費（講師謝金）	1,599千円																																																																
						○旅費	14千円																																																																
						○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費）	174千円																																																																
						○委託料（バス運転委託料）	443千円																																																																
						○使用料及び賃借料（会場使用料、有料道路通行料等）	154千円																																																																
						成果・課題	○コロナ禍の中、生きがいづくり、健康づくりの機会を提供し、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○参加者の増加に努めるとともに、より一層高齢者の社会参加の促進と学習の成果を地域活動等にいかす取組を推進する必要がある。 ○百才活力学園を新たに実施し、丹後の食の担い手の活動拠点を訪れ、見学や体験などを通して、丹後の食文化や食資源の魅力を再発見する機会を提供することができた。																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学園</th> <th colspan="2">一般講座</th> <th colspan="4">教養講座</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>延べ回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>講座数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>6回</td> <td>146人</td> <td>72回</td> <td>737人</td> <td>10講座</td> <td>民謡、ちぎり絵、他</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>6回</td> <td>169人</td> <td>40回</td> <td>550人</td> <td>7講座</td> <td>剪定、寄せ植え、他</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>6回</td> <td>353人</td> <td>108回</td> <td>1,533人</td> <td>11講座</td> <td>グラウンドゴルフ、唱歌、他</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>4回</td> <td>129人</td> <td>33回</td> <td>361人</td> <td>9講座</td> <td>生け花、そば打ち、他</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>5回</td> <td>115人</td> <td>51回</td> <td>530人</td> <td>8講座</td> <td>絵手紙、スマホ、他</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td>5回</td> <td>156人</td> <td>43回</td> <td>474人</td> <td>7講座</td> <td>ピラティス、古典文学、他</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32回</td> <td>1,068人</td> <td>347回</td> <td>4,185人</td> <td>52講座</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			学園	一般講座		教養講座				回数	延べ参加者数	延べ回数	延べ参加者数	講座数	内容	峰山	6回	146人	72回	737人	10講座	民謡、ちぎり絵、他	大宮	6回	169人	40回	550人	7講座	剪定、寄せ植え、他	網野	6回	353人	108回	1,533人	11講座	グラウンドゴルフ、唱歌、他	丹後	4回	129人	33回	361人	9講座	生け花、そば打ち、他	弥栄	5回	115人	51回	530人	8講座	絵手紙、スマホ、他	久美浜	5回	156人	43回	474人	7講座	ピラティス、古典文学、他	合計	32回	1,068人	347回	4,185人	52講座							
	学園	一般講座			教養講座																																																																		
		回数	延べ参加者数	延べ回数	延べ参加者数	講座数	内容																																																																
	峰山	6回	146人	72回	737人	10講座	民謡、ちぎり絵、他																																																																
大宮	6回	169人	40回	550人	7講座	剪定、寄せ植え、他																																																																	
網野	6回	353人	108回	1,533人	11講座	グラウンドゴルフ、唱歌、他																																																																	
丹後	4回	129人	33回	361人	9講座	生け花、そば打ち、他																																																																	
弥栄	5回	115人	51回	530人	8講座	絵手紙、スマホ、他																																																																	
久美浜	5回	156人	43回	474人	7講座	ピラティス、古典文学、他																																																																	
合計	32回	1,068人	347回	4,185人	52講座																																																																		
※合同講座を含む																																																																							
【百才活力学園】 10講座 延べ参加者数120人																																																																							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 1,026千円	最終予算額 1,066千円	不用額 40千円	執行率	部 教育委員会事務局																
	項	04 社会教育費				96.2 %																	
	目	02 社会教育推進費				(参考)当初予算額																	
	事業	04 家庭教育事業				1,750千円																	
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		府補 家庭教育支援基盤形成事業補助金(2/3)	506千円		課 生涯学習課																	
目的	発達段階に応じた学習及び交流機会を提供するとともに、PTA活動を支援することによって、全ての教育の出発点であり、子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。			主な財源																			
主要な事務・事業の概要	乳児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施したほか、PTA活動の支援を行った。			○子育て講座（講師謝金等）		205千円																	
	○家庭教育支援チーム事業（ファシリテーター謝金等） 563千円 子育て経験者や専門的な知識・経験を持つサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行った。 ※家庭教育支援チーム：計6チーム、子育てサポーター：計49人			<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児期子育て講座</td> <td>4回</td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td>就学前、思春期子育て講座</td> <td>3回</td> <td>240人</td> </tr> <tr> <td>親子リフレッシュ体操教室</td> <td>15回</td> <td>228人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22回</td> <td>594人</td> </tr> </tbody> </table>		事業	回数	延べ参加者数	乳幼児期子育て講座	4回	126人	就学前、思春期子育て講座	3回	240人	親子リフレッシュ体操教室	15回	228人	合計	22回	594人	258千円		
	事業	回数	延べ参加者数																				
乳幼児期子育て講座	4回	126人																					
就学前、思春期子育て講座	3回	240人																					
親子リフレッシュ体操教室	15回	228人																					
合計	22回	594人																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て交流会</td> <td>3回</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>「手紙で結ぶ家族の絆」事業</td> <td>14回</td> <td>429人</td> </tr> <tr> <td>子育て広場</td> <td>6回</td> <td>223人</td> </tr> <tr> <td>高校生と赤ちゃんのふれあい交流</td> <td>5回</td> <td>119人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28回</td> <td>813人</td> </tr> </tbody> </table>			事業	回数	延べ参加者数	子育て交流会	3回	42人	「手紙で結ぶ家族の絆」事業	14回	429人	子育て広場	6回	223人	高校生と赤ちゃんのふれあい交流	5回	119人	合計	28回	813人	○京丹後市PTA協議会補助金 市研究大会の開催、各種研修会の参加、安全会掛金等への助成		
事業	回数	延べ参加者数																					
子育て交流会	3回	42人																					
「手紙で結ぶ家族の絆」事業	14回	429人																					
子育て広場	6回	223人																					
高校生と赤ちゃんのふれあい交流	5回	119人																					
合計	28回	813人																					
成果・課題	○子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割の重要性などについて啓発することができた。 ○課題を関係機関と共有し、より効果的な学習会等の実施を進める必要がある。																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	04 社会教育費							35,645千円	35,858千円	213千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	目	02 社会教育推進費												
	事業	05 文化芸術事業												
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		府補	きょうと地域連携交付金（文化芸術事業）				2,256千円						
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう文化芸術活動を支援し、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。 また、文化芸術振興審議会を設置し、文化芸術振興計画の策定に向け、調査・審議する。			主な財源										
主要な事務・事業の概要	文化芸術活動団体への支援を行い、市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供し市民による文化芸術活動の充実に努めた。 ○京都：Re-Search実行委員会負担金 2,000千円 R3.10.1～11.7 網野町浅茂川地区、三津漁港でアーティストの作品等展示 ○京都府丹後文化事業団運営補助金 27,000千円 コロナ禍の中、多くの事業・公演が中止・延期となったが、映画上映やコンサート、各種公演の実施など、丹後地域における豊かな文化の振興及び普及事業を支援した。 映画上映3回（計760人）、コンサート2回（計1,137人）などを開催 ○京丹後市文化協会活動費補助金 3,500千円 加盟団体：135団体、1,825人 コロナ禍で開催できなかった「総合文化祭」の代替事業として実施された「小さな発表会配信事業（所属サークルの発表を撮影し、ケーブルテレビで放映）」や「総合作品展」開催のほか、支部事業など市民の芸術鑑賞機会や自主的な活動を支援した。 R3.12.4～12.5 総合作品展開催（網野体育センター・来場者数355人） R3.12.4～12.5 小さな発表会配信事業実施（参加16団体、R4.2～放映） ○京丹後文化のまちづくり推進事業補助金 30千円 閉校になった学校の校歌保存事業（旧吉原小、旧五箇小）や人形劇公演、子育て講演会の開催を支援				○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300千円 舞台2事業、展示2事業、セミナー2事業を支援 ○小町ろまん全国短歌大会開催補助金 7千円 募集期間：R3.7.1～9.10 大会開催：R3.11.27 ○田中彩子京丹後公演実行委員会補助金 1,000千円 R4.2.6 田中彩子ソプラノリサイタル 丹後文化会館 [文化芸術振興計画策定検討に関する経費] ○文化振興に関する意向アンケートの実施 399千円 市民の文化芸術活動や文化芸術に関する意向を把握するために、アンケート調査を実施。回答：市民714人、高校生338人、団体116団体 ○京丹後市文化芸術振興審議会 409千円 ・文化芸術振興審議会委員報酬、アドバイザー謝金ほか 委員13人、アドバイザー3人、審議会開催回数：4回									
	成果・課題	○幅広い世代が優れた文化を鑑賞できる機会の提供及び地域文化の普及・振興等を推進し、文化芸術活動の充実に図ることができた。 ○市民ニーズを的確に把握した事業の推進、文化協会等各団体の更なる自立運営に向けて支援していく必要がある。 ○文化芸術に関する施策を総合的、計画的に推進するため、京丹後市文化芸術振興計画策定に向け、文化芸術振興審議会を設置し、審議を進めている。												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	04 社会教育費							181千円	249千円	68千円	72.6%
	目	02 社会教育推進費										(参考)当初予算額
	事業	06 人権教育事業										249千円
課	生涯学習課											
基本計画	22 人権を尊重するまちづくり		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	6千円						
				府補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/4)	3千円						
目的	あらゆる人権問題について正しく理解し、認識を深めるための学習機会を提供するなど、人権教育を推進することにより、人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指す。			府補	人権問題啓発事業費補助金	72千円						
主要な事務・事業の概要	<p><人権学習></p> <ul style="list-style-type: none"> 人権教育研究京丹後市大会(R3.8.18) 参加者:329人 講演「人権・同和問題の解決をめざして…」 講師 関西外国語大学 明石一朗 教授 (会場:京都府丹後文化会館) 夏休み子ども映画会(R3.8.8) 参加者:300人(3会場) 映画「すみっこぐらし とびだす絵本とひみつのコ」の上映 (会場:丹後地域公民館、アグリセンター大宮、アミティ丹後) <p>○講師謝金 50千円 ○通信運搬費(Wi-Fi使用料) 2千円 ○使用料(京都府丹後文化会館) 90千円 ○需用費(消耗品費) 5千円 ○その他経費(消耗品費) 13千円</p>			<p><障害者交流研修会></p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者交流研修会(R3.6.22) 参加者数15人 講演「丹後の古代史」、グラウンドゴルフ体験 (会場:大宮ふれあい工房、ふれあいスポーツ広場) 聴覚障害者交流研修会(R3.10.1) 参加者数15人 ユニボッチャ体験、講演「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について」 (会場:京丹後市役所大宮庁舎) <p>○委託料(マイクロバス運転委託料) 16千円 ○需用費(燃料費、消耗品費) 5千円</p>								
	成果・課題	<p>○人権教育研究京丹後市大会、障害者交流研修会や夏休み子ども映画会を開催することにより、障害者の社会参加の促進や、人権学習の機会を提供することができた。</p> <p>○人権を尊重する心を身につけ、日常生活の中で無意識に実践できるよう、啓発活動だけでなく学習活動を充実させることが必要である。</p>										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	04 社会教育費							433千円	434千円	1千円	99.7%
	目	02 社会教育推進費										(参考)当初予算額
	事業	07 放課後子ども教室事業										780千円
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		府補	京のまなび教室推進事業補助金(2/3)		289千円						
目的	放課後に小学校の余裕教室を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	○委託料		433千円									
	放課後子ども教室運営委託料(2か所)											
	※事業の概要											
		網野北小学校区放課後子ども教室	網野南小学校区放課後子ども教室									
	実施場所	網野北小学校施設内	網野南小学校施設内									
	委託先	放課後子ども教室実行委員会	放課後子ども教室実行委員会									
	実登録人数	42人	76人									
	参加児童数	延べ615人(1回平均36人)	延べ1,064人(1回平均63人)									
	支援員の数	延べ113人(1回平均7人)	延べ168人(1回平均10人)									
	実施日	令和3年4月～令和4年3月(授業のある水曜日の放課後)										
活動内容	自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど											
※実登録人数は令和4年3月末時点の人数												
※新型コロナウイルス感染症対策のため、両教室とも当初36回の実施回数を17回とした。				成果・課題	○子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)として放課後子ども教室を開設し、地域住民の協力を得て子どもたちに世代間交流の機会を提供するとともに、さまざまな体験活動を実施することができた。 ○子ども教室の運営は、地域住民の協力を得て実施することになっており、スタッフの確保が課題である。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																			
	項	04 社会教育費							36,281千円	36,360千円	79千円	99.7%																															
	目	03 公民館費										(参考)当初予算額																															
	事業	01 中央公民館管理運営事業										36,789千円																															
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		市債		過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債）		28,900千円																																				
目的	地域住民の学習及び交流活動の拠点として設置されている地区（自治）公民館活動を支援し、地域の活性化を推進する。		主な財源																																								
主要な事務・事業の概要	○地区公民館活動交付金 34,228千円			○公民館職員研修会 6千円																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>地区公民館数</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町公民館連絡協議会</td> <td>8館</td> <td>7,684千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町公民館連絡協議会</td> <td>15館</td> <td>6,005千円</td> </tr> <tr> <td>網野町公民館連絡協議会</td> <td>12館</td> <td>7,751千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町公民館連絡協議会</td> <td>4館</td> <td>3,343千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町公民館連絡協議会</td> <td>5館</td> <td>3,226千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町公民館連絡協議会</td> <td>8館</td> <td>6,219千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>52館</td> <td>34,228千円</td> </tr> </tbody> </table>			区分	地区公民館数	交付金額	峰山町公民館連絡協議会	8館	7,684千円	大宮町公民館連絡協議会	15館	6,005千円	網野町公民館連絡協議会	12館	7,751千円	丹後町公民館連絡協議会	4館	3,343千円	弥栄町公民館連絡協議会	5館	3,226千円	久美浜町公民館連絡協議会	8館	6,219千円	合計	52館	34,228千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <td>令和3年11月17日</td> </tr> <tr> <th>会場</th> <td>アグリセンター大宮</td> </tr> <tr> <th>演題1</th> <td>新たな地域コミュニティ推進について (講師：市地域コミュニティ推進課職員)</td> </tr> <tr> <th>演題2</th> <td>前例・手本・答えのない時代の地域運営 (講師：久美浜町佐濃自治会 森本賢一郎会長)</td> </tr> <tr> <th>参加者数</th> <td>91人</td> </tr> </thead> </table>						日時	令和3年11月17日	会場	アグリセンター大宮	演題1	新たな地域コミュニティ推進について (講師：市地域コミュニティ推進課職員)	演題2	前例・手本・答えのない時代の地域運営 (講師：久美浜町佐濃自治会 森本賢一郎会長)	参加者数	91人
	区分	地区公民館数	交付金額																																								
	峰山町公民館連絡協議会	8館	7,684千円																																								
大宮町公民館連絡協議会	15館	6,005千円																																									
網野町公民館連絡協議会	12館	7,751千円																																									
丹後町公民館連絡協議会	4館	3,343千円																																									
弥栄町公民館連絡協議会	5館	3,226千円																																									
久美浜町公民館連絡協議会	8館	6,219千円																																									
合計	52館	34,228千円																																									
日時	令和3年11月17日																																										
会場	アグリセンター大宮																																										
演題1	新たな地域コミュニティ推進について (講師：市地域コミュニティ推進課職員)																																										
演題2	前例・手本・答えのない時代の地域運営 (講師：久美浜町佐濃自治会 森本賢一郎会長)																																										
参加者数	91人																																										
積算内訳（調整有）			<ul style="list-style-type: none"> 地区割 20,000円×225地区 世帯数割 1,400円×20,469世帯 (世帯数：平成27年国勢調査) 町均等割 250,000円×6町 																																								
○その他経費（役務費） 2,047千円			成果・課題																																								
<ul style="list-style-type: none"> 公民館総合（傷害）保険料（52地区館分） 2,038千円 切手代 9千円 			<p>○地区公民館活動の支援を通じて、住民のコミュニティ活動の推進を図るとともに、学習及び交流機会の提供など、地区公民館が地域づくりの拠点としての機能を発揮することに寄与した。</p> <p>○持続可能な地域づくりのため、公民館体制や新たな地域コミュニティづくりについて、関係機関と連携し推進する必要がある。</p>																																								

予算科目	款	10 教育費		本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																											
	項	04 社会教育費								21,783千円	22,134千円	351千円	98.4 %																																							
	目	03 公民館費											(参考)当初予算額																																							
	事業	02 地域公民館管理運営事業											23,794千円																																							
課			生涯学習課																																																	
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			主な財源	使用料	峰山地域公民館使用料	250千円																																													
					使用料	丹後地域公民館使用料	26千円																																													
					使用料	弥栄地域公民館使用料	6千円																																													
目的	地域の学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。また、社会教育活動、生涯学習等を行う拠点として、峰山、丹後、弥栄地域公民館の管理運営を行う。				諸収入	社会教育事業等参加料	51千円																																													
				諸収入	峰山地域公民館光熱水費負担金	246千円																																														
				諸収入	丹後地域公民館光熱水費負担金	56千円																																														
主要な事務・事業の概要	<地域公民館利用状況>				<ul style="list-style-type: none"> ○講座・教室等の実施、地域公民館事業の広報 753千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費（講師謝金） 130千円 ・需用費（消耗品費、燃料費） 574千円 ・委託料（バス運転委託料） 49千円 ○地域公民館施設等維持管理経費 21,030千円 <ul style="list-style-type: none"> ・需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費） 9,194千円 ・役務費（通信運搬費、ゴミ処理手数料） 350千円 ・委託料 8,630千円 <ul style="list-style-type: none"> （宿日直、施設清掃、電気保安管理、丹後地域公民館施設管理ほか） ・使用料及び賃借料（テレビ受信料、土地借上料） 285千円 ・修繕費（峰山地域公民館キュービクル発錆再塗装修繕ほか） 2,568千円 ・その他（施設使用料返還金） 3千円 																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>延べ利用者数</th> <th>施設等維持管理経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山地域公民館</td> <td>1,809回</td> <td>29,189人</td> <td>9,005千円</td> </tr> <tr> <td>丹後地域公民館</td> <td>264回</td> <td>4,675人</td> <td>5,585千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄地域公民館</td> <td>708回</td> <td>24,668人</td> <td>6,348千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	利用回数	延べ利用者数	施設等維持管理経費	峰山地域公民館	1,809回	29,189人	9,005千円	丹後地域公民館	264回	4,675人	5,585千円	弥栄地域公民館	708回	24,668人	6,348千円																																
	区分	利用回数	延べ利用者数	施設等維持管理経費																																																
	峰山地域公民館	1,809回	29,189人	9,005千円																																																
	丹後地域公民館	264回	4,675人	5,585千円																																																
	弥栄地域公民館	708回	24,668人	6,348千円																																																
	<主な公民館事業>																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">成人教育</td> <td>花とグリーン講座（峰山・大宮・弥栄）</td> <td>3回</td> <td>54人</td> <td>18千円</td> </tr> <tr> <td>丹後ちりめん講座（峰山・大宮）</td> <td>3回</td> <td>33人</td> <td>12千円</td> </tr> <tr> <td>ゆったりヨーガ講座（大宮）</td> <td>5回</td> <td>44人</td> <td>12千円</td> </tr> <tr> <td>シオ・山野草ウォーク（網野・丹後・久美浜）</td> <td>3回</td> <td>48人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>ふるさと探検 チャレンジウォーク（丹後）</td> <td>1回</td> <td>17人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>バードウォッチング入門講座（丹後）</td> <td>2回</td> <td>13人</td> <td>12千円</td> </tr> <tr> <td>Twinぼーるエクササイズ教室（久美浜）</td> <td>3回</td> <td>28人</td> <td>18千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">青少年教育</td> <td>網野町ウイークエンド事業（網野）</td> <td>5回</td> <td>128人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町少年少女意見発表大会（丹後）</td> <td>1回</td> <td>160人</td> <td>20千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額	成人教育	花とグリーン講座（峰山・大宮・弥栄）	3回	54人	18千円	丹後ちりめん講座（峰山・大宮）	3回	33人	12千円	ゆったりヨーガ講座（大宮）	5回	44人	12千円	シオ・山野草ウォーク（網野・丹後・久美浜）	3回	48人	6千円	ふるさと探検 チャレンジウォーク（丹後）	1回	17人	6千円	バードウォッチング入門講座（丹後）	2回	13人	12千円	Twinぼーるエクササイズ教室（久美浜）	3回	28人	18千円	青少年教育	網野町ウイークエンド事業（網野）	5回	128人	6千円	丹後町少年少女意見発表大会（丹後）	1回	160人	20千円					
	事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額																																															
	成人教育	花とグリーン講座（峰山・大宮・弥栄）	3回	54人	18千円																																															
丹後ちりめん講座（峰山・大宮）		3回	33人	12千円																																																
ゆったりヨーガ講座（大宮）		5回	44人	12千円																																																
シオ・山野草ウォーク（網野・丹後・久美浜）		3回	48人	6千円																																																
ふるさと探検 チャレンジウォーク（丹後）		1回	17人	6千円																																																
バードウォッチング入門講座（丹後）		2回	13人	12千円																																																
Twinぼーるエクササイズ教室（久美浜）		3回	28人	18千円																																																
青少年教育	網野町ウイークエンド事業（網野）	5回	128人	6千円																																																
	丹後町少年少女意見発表大会（丹後）	1回	160人	20千円																																																
				成果・課題																																																
				<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染予防のため、一部施設の使用制限を行ったり、計画どおり事業を実施することができなかったが、可能な限り地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。 ○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫・充実に努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。 																																																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 5,526千円	最終予算額 5,692千円	不用額 166千円	執行率	部 教育委員会事務局																					
	項	04 社会教育費				97.0 %																						
	目	03 公民館費				(参考)当初予算額																						
	事業	03 地区公民館管理運営事業				5,692千円																						
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源 諸収入	網野、新庄公民館光熱水費負担金			213千円																					
目的	地域住民の身近な生涯学習・地域活動の拠点である、網野地域の地区公民館を維持・管理する。																											
主要な事務・事業の概要	○地区公民館施設管理費 ・地区公民館施設管理委託料（1館分） 480千円 ・地区公民館火災保険料等補助金（7館分） 1,830千円 ・新庄地区公民館屋根工事委託料 1,048千円 ・その他地区公民館管理経費（9館分） 2,168千円 報償費（地区公民館管理謝金） 936千円 需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費） 1,116千円 役務費（通信運搬費、し尿汲み取り手数料、火災保険料 48千円 委託料（消防設備等保守点検委託料、防火対象物定期点 26千円 報告業務委託料） 使用料及び賃借料（ガス警報器使用料） 3千円 備品購入費（消火器6本） 39千円			<利用状況> ・網野地区公民館 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>延べ利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大広間</td> <td>45回</td> <td>1,073人</td> </tr> <tr> <td>大会議室・小会議室</td> <td>61回</td> <td>873人</td> </tr> <tr> <td>公民館会議室</td> <td>1回</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>22回</td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>調理室</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>129回</td> <td>2,084人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	利用回数	延べ利用者数	大広間	45回	1,073人	大会議室・小会議室	61回	873人	公民館会議室	1回	6人	和室	22回	132人	調理室	0回	0人	合計	129回	2,084人
	区分	利用回数	延べ利用者数																									
大広間	45回	1,073人																										
大会議室・小会議室	61回	873人																										
公民館会議室	1回	6人																										
和室	22回	132人																										
調理室	0回	0人																										
合計	129回	2,084人																										
			成果・課題	○適正に維持管理を行うことにより、施設の機能、利用者の利便性を維持確保することができた。 ○網野地域には地区集会施設の一部を公民館施設として占用しているものがある。この施設管理費について負担割合を設定し、補助金などにより支出しているが、他地域の地区公民館の現状を踏まえ、市負担の軽減・廃止に向けて調整を図る必要がある。																								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	04 社会教育費							32,500千円	33,038千円	538千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	目	03 公民館費												
	事業	50 公民館一般経費												
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源											
目的	公民館の事務事業に必要な公用車などを適切に管理するほか、会計年度任用職員を各地域公民館に配置し、公民館の円滑な運営を図る。													
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（2人×6館）		31,575千円	○京都府公民館連絡協議会負担金		33千円								
	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 22,505千円 ・期末手当 4,489千円 ・共済費 4,247千円 ・費用弁償 334千円 			○AED借上料（峰山・丹後地域公民館）		63千円								
○公民館職員研修会、担当者会議への参加		15千円	○その他経費（消耗品費、食糧費）		34千円									
<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 5千円 ・有料道路通行料、駐車場使用料 10千円 														
○地域公民館配置公用車の維持管理経費（5台）		780千円												
<ul style="list-style-type: none"> ・燃料費 245千円 ・修繕料 365千円 ・登録手数料、損害保険料 143千円 ・自動車重量税 27千円 			成果・課題	○令和2年度から地域公民館の職員体制を変え、正職員である地域公民館長1人と会計年度任用職員2人とし、組織体制を強化した。 ○公民館職員の資質向上と地域公民館間の情報共有の機会を確保する必要がある。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																															
	項	04 社会教育費							71,294千円	71,635千円	341千円	99.5 %																											
	目	04 図書館費										(参考)当初予算額																											
	事業	01 図書館管理運営事業										75,303千円																											
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	7,500千円																																	
				府補	地方創生推進交付金	182千円																																	
目的	生涯学習の拠点施設として、市民の読書、調査研究等の要求に応えるよう施設整備を進めるとともに、様々な資料や情報を収集、整理、保存し提供するための図書館・図書室運営を行う。			寄附金	ふるさと応援寄附金	800千円																																	
主要な事務・事業の概要	○図書館協議会委員報酬・費用弁償（委員10人、会議2回、視察1回） 94千円 ○市立図書館（2館）図書室（4室）の管理運営費 70,837千円 ・会計年度任用職員任用経費（通常業務19人、代行職員） 46,700千円 ・図書購入費（AV資料含む） 8,780千円 ・雑誌及び新聞購入費 1,298千円 ・ブックスタート事業経費 127千円 ・Wi-Fiルータ通信料 50千円 ・図書システム利用料、保守委託料 2,876千円 ・光熱水費（あみの図書館） 1,629千円 ・備品購入費（図書除菌機6台） 7,843千円 ・その他（図書装備用品等） 1,534千円 ○あみの図書館「野村克也図書コーナー設置」（2月2日～） 363千円 ・書架、サイン等備品購入費 264千円 ・コーナー用図書購入費 99千円			<利用状況等> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>蔵書数（年度末時点）</th> <th>年間貸出点数</th> <th>年間貸出者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山図書館</td> <td>83,449点</td> <td>74,076点</td> <td>12,166人</td> </tr> <tr> <td>あみの図書館</td> <td>104,810点</td> <td>104,755点</td> <td>19,082人</td> </tr> <tr> <td>大宮図書室</td> <td>36,951点</td> <td>63,452点</td> <td>10,305人</td> </tr> <tr> <td>丹後図書室</td> <td>26,802点</td> <td>33,233点</td> <td>6,511人</td> </tr> <tr> <td>弥栄図書室</td> <td>28,484点</td> <td>33,203点</td> <td>6,136人</td> </tr> <tr> <td>久美浜図書室</td> <td>26,925点</td> <td>49,442点</td> <td>9,168人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>307,421点</td> <td>358,161点</td> <td>63,368人</td> </tr> </tbody> </table> ※市民1人あたりの年間貸出冊数：5.53冊				区分	蔵書数（年度末時点）	年間貸出点数	年間貸出者数	峰山図書館	83,449点	74,076点	12,166人	あみの図書館	104,810点	104,755点	19,082人	大宮図書室	36,951点	63,452点	10,305人	丹後図書室	26,802点	33,233点	6,511人	弥栄図書室	28,484点	33,203点	6,136人	久美浜図書室	26,925点	49,442点	9,168人	合計	307,421点	358,161点	63,368人
	区分	蔵書数（年度末時点）	年間貸出点数	年間貸出者数																																			
峰山図書館	83,449点	74,076点	12,166人																																				
あみの図書館	104,810点	104,755点	19,082人																																				
大宮図書室	36,951点	63,452点	10,305人																																				
丹後図書室	26,802点	33,233点	6,511人																																				
弥栄図書室	28,484点	33,203点	6,136人																																				
久美浜図書室	26,925点	49,442点	9,168人																																				
合計	307,421点	358,161点	63,368人																																				
	<主なサービス内容> ・資料（図書・AV資料・雑誌新聞）の収集、整理、保存、貸出など ・閲覧、学習スペースの提供（Wi-Fi接続サービス）・図書館相互協力 ・国会図書館デジタル化資料送信サービス・おはなし会等の行事開催・広報活動 ・学校等との連携による読書推進事業・読み聞かせボランティアの活用など			成果・課題	○市内全域にサービスを行い読書推進を図ることができた。 ○コロナ禍の中、出来る範囲での活動を実施し、昨年度に比べ利用が増加した。 ○ブックスタート事業の再開、Wi-Fi接続サービスの開始、図書除菌機の設置、雑誌スポンサー制度の導入、野村克也図書コーナーの開設等、新たな取組を実施することができた。 ○未利用者等への図書館活動の周知、サービスの充実に努めるなどし、利用拡大を図る必要がある。																																		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	04 社会教育費							29,484千円	29,866千円	382千円	98.7%
	目	05 資料館費										(参考)当初予算額
	事業	01 郷土資料館管理運営事業										30,773千円
課	文化財保護課											
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源	使用料	郷土資料館入館料	18千円						
		市債		旧社会教育施設解体事業債（公共施設等適正管理推進債）	23,700千円							
目的	民俗資料等の収集、調査並びに公開施設である郷土資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。											
主要な事務・事業の概要	<p>豊富に残る市所蔵の民俗資料、古文書・典籍・書籍等の適切な保管・公開を行った。また旧網野郷土資料館解体工事を実施した。</p> <p>○会計年度任用職員任用経費（資料館業務員1人） 730千円 ・報酬、費用弁償、労災保険料</p> <p>○維持管理費 2,056千円 ・維持管理経費（燃料、光熱水費、修繕、通信費等） 1,452千円 ・施設保守管理経費（貯水槽、浄化槽、消防設備） 160千円 ・施設警備委託料 83千円 ・使用賃借料（コピー機借上料、テレビ受信料） 161千円 ・その他事務経費（消耗品、ごみ処理手数料） 200千円</p> <p>○郷土資料館展示室エアコン取付工事 86千円</p> <p>○旧網野郷土資料館解体工事 26,612千円 ・工事請負費（施設除却） 25,439千円 ・工事監理委託料 1,100千円 ・処理手数料（廃消火器、鉄屑等） 73千円</p>			【企画展示】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>タイトル</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3.7.24~R3..8.31</td> <td>企画展示「昔のおもちゃ」</td> <td>147人</td> </tr> </tbody> </table>	期 間	タイトル	入館者数	R3.7.24~R3..8.31	企画展示「昔のおもちゃ」	147人	
	期 間	タイトル	入館者数									
R3.7.24~R3..8.31	企画展示「昔のおもちゃ」	147人										
			【入館者数・推移】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,684人</td> <td>822人</td> <td>75人</td> <td>215人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/25~5/31及び8/27~9/17を臨時休館としたこと、市内小学校利用がなかったことから入館者数は大きく回復しなかった。</p>	H30	R元	R2	R3	1,684人	822人	75人	215人
H30	R元	R2	R3									
1,684人	822人	75人	215人									
			成果・課題	<p>○民俗資料・典籍等の公開並びに小学生を対象とした夏休み特別企画「昔のおもちゃ」展を実施するなど、文化財の普及啓発を図った。</p> <p>○今後も安全・安心な来館者の受入に努めるとともに、常設展示の配置や展示資料の解説内容などを工夫、改善していくことが課題である。</p>								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局											
	項	04 社会教育費							11,412千円	11,542千円	130千円	98.8%							
	目	05 資料館費										(参考)当初予算額							
	事業	02 古代の里資料館管理運営事業										11,541千円							
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源	使用料	古代の里資料館入館料	340千円													
目的	考古資料・美術工芸品等の収蔵・調査・公開施設である丹後古代の里資料館の維持管理を行い、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供するとともに、郷土の文化遺産についての住民の関心を高める。			諸収入	古代の里資料館陶芸教室実習料	93千円													
			諸収入	古代の里資料館書籍販売代金	129千円														
主要な事務・事業の概要	考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図った。			【企画展示】															
	○会計年度任用職員任用経費（資料館業務員4人） ・報酬、期末手当、共済費、費用弁償	8,384千円				<table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>タイトル</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3.4.24~R3.8.1</td> <td>春季企画展示「地域の中の湯舟坂2号墳」</td> <td>437人</td> </tr> <tr> <td>R3.10.2~R3.12.26</td> <td>秋季企画展示「永浜宇平の生涯」</td> <td>555人</td> </tr> <tr> <td>R34.2.19~R4.4.10</td> <td>企画展示「丹後震災の記憶」</td> <td>282人</td> </tr> </tbody> </table>			期 間	タイトル	入館者数	R3.4.24~R3.8.1	春季企画展示「地域の中の湯舟坂2号墳」	437人	R3.10.2~R3.12.26	秋季企画展示「永浜宇平の生涯」	555人	R34.2.19~R4.4.10	企画展示「丹後震災の記憶」
期 間	タイトル	入館者数																	
R3.4.24~R3.8.1	春季企画展示「地域の中の湯舟坂2号墳」	437人																	
R3.10.2~R3.12.26	秋季企画展示「永浜宇平の生涯」	555人																	
R34.2.19~R4.4.10	企画展示「丹後震災の記憶」	282人																	
○維持管理、展示等に関する経費 ・維持管理経費（燃料、光熱水費、修繕、通信費、火災保険） ・施設保守管理経費（電気設備、浄化槽、消防設備） ・施設警備委託料 ・使用料及び賃借料（コピー機、清掃用具、土地借上げ等） ・その他事務経費（消耗品、ごみ処理手数料） ・展示関係経費（展示パネル印刷、旅費、有料道路通行料等）	3,028千円 1,630千円 389千円 86千円 462千円 280千円 181千円				【入館者数・推移】														
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,259人</td> <td>2,821人</td> <td>1,380人</td> <td>1,579人</td> </tr> </tbody> </table>			H30	R元	R2	R3	3,259人	2,821人	1,380人	1,579人			
H30	R元	R2	R3																
3,259人	2,821人	1,380人	1,579人																
						※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/25~5/31及び8/27~9/17を臨時休館としたこと等の影響から、入館者数が微増するにとどまった。													
						成果・課題													
						○考古・歴史資料の公開により、文化財の普及啓発を図った。 ○小中学校の地域学習施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。今後もより一層、小中学校の地域学習への活用を図っていく必要がある。 ○開館から25年以上が経過しており、館内設備の計画的な更新等が今後の検討課題である。													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局							
	項	04 社会教育費							8,977千円	9,165千円	188千円	97.9%			
	目	05 資料館費										(参考)当初予算額			
	事業	03 資料館等指定管理施設運営事業										8,587千円	課	文化財保護課	
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源												
目的	琴引浜鳴き砂文化館の維持管理を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。														
主要な事務・事業の概要	<p>鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理者制度により、琴引き浜鳴り砂を守る会が管理運営を行った。環境学習のための教育施設であるとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する観光施設としても重要な拠点と位置付けている。</p> <p>○琴引浜鳴き砂文化館指定管理委託料 7,299千円</p> <p>○使用料及び賃借料 1,288千円 公益財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料及び土地所有者への駐車場用地賃借料</p> <p>○指定管理者休業協力金 390千円 臨時休館期間（4/25～5/23及び8/27～9/17）</p>														
	<p>【入館者数・推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,787人</td> <td>9,520人</td> <td>6,055人</td> <td>6,443人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/25～5/31及び8/27～9/17を臨時休館とした影響から、入館者数が微増するにとどまった。</p>		H30	R元	R2	R3	9,787人	9,520人	6,055人	6,443人	成果・課題	<p>○各種視察受け入れやジオパーク関連事業、ガイド事業への支援・協力などを行い、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。</p> <p>○リピーターを含む市内外からの利用者獲得へ向け、展示内容のリニューアル等の検討を進めるほか、施設修繕を計画的に実施し、適正な管理運営に努める必要がある。</p>			
H30	R元	R2	R3												
9,787人	9,520人	6,055人	6,443人												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	04 社会教育費	9,137千円	9,270千円	133千円	98.5 %																	
	目	06 社会教育施設費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課															
	事業	01 峰山いさなご施設管理運営事業				9,500千円																	
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		使用料	峰山林業総合センター-使用料				56千円															
目的	林業の振興のほか、スポーツ及びレクリエーション活動による市民の健康づくり、生きがいづくりを推進し、市民福祉の向上を図る。		使用料	峰山いさなご工房使用料				520千円															
			使用料	峰山いさなごコート使用料				19千円															
			諸収入	峰山林業総合センター-木工教室等材料代				20千円															
			主な財源																				
主要な事務・事業の概要	○会計年度職員任用経費（3人）		6,346千円		<利用状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>延べ利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>林業センター</td> <td>188回</td> <td>1,219人</td> </tr> <tr> <td>いさなご工房</td> <td>264回</td> <td>666人</td> </tr> <tr> <td>いさなごコート</td> <td>262回</td> <td>4,183人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>714回</td> <td>6,068人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	利用回数	延べ利用人数	林業センター	188回	1,219人	いさなご工房	264回	666人	いさなごコート	262回	4,183人	合計	714回	6,068人
	区分	利用回数	延べ利用人数																				
	林業センター	188回	1,219人																				
	いさなご工房	264回	666人																				
	いさなごコート	262回	4,183人																				
	合計	714回	6,068人																				
	・報酬		4,492千円																				
	・職員手当等（期末手当）		910千円																				
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）		864千円																				
	・費用弁償		80千円																				
○管理運営経費		2,791千円																					
・需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料）		2,201千円																					
・役務費（通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、火災保険料）		165千円																					
・委託料（消防設備等保守点検委託料、浄化槽維持管理委託料）		305千円																					
・使用料及び賃借料（テレビ放送受信料、機械器具借上料）		46千円																					
・備品購入費（電話機1台、小型ドリル機1台）		74千円																					
成果・課題	○適切な施設の管理及び貸し出し、木工・陶芸の指導、定期講座の実施などを通して、市民に学習と交流の機会を提供し、スポーツ・文化活動の振興、健康づくりの推進などに寄与することができた。																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																										
	項	04 社会教育費							15,771千円	16,068千円	297千円	98.1 %																						
	目	06 社会教育施設費										(参考)当初予算額																						
	事業	02 マスターズビレッジ管理運営事業										18,309千円																						
課	生涯学習課																																	
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	大宮ふれあい工房使用料	639千円																												
目的	大宮ふれあい工房（陶芸・染色体験等施設）、ふれあいスポーツ広場等を管理運営することで、市民の交流及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図る。			使用料	大宮ふれあいスポーツ広場使用料	17千円																												
				諸収入	大宮ふれあい工房関係諸収入	5千円																												
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（6人）		9,841千円	＜利用状況＞																														
	・報酬	7,770千円																																
	・職員手当	1,073千円																																
	・共済費	770千円																																
・旅費	228千円																																	
○施設維持管理経費		5,679千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th colspan="2">延べ利用者数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ふれあい工房</td> <td>展示室</td> <td>利用者数</td> <td>766人</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>利用者数</td> <td>777人</td> </tr> <tr> <td>陶芸体験</td> <td>体験者数</td> <td>343人</td> </tr> <tr> <td>染色体験</td> <td>体験者数</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>利用者数</td> <td>1,767人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ふれあいスポーツ広場</td> <td>利用者数</td> <td>3,949人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td colspan="2">7,877人</td> </tr> </tbody> </table>				区 分		延べ利用者数等		ふれあい工房	展示室	利用者数	766人	会議室	利用者数	777人	陶芸体験	体験者数	343人	染色体験	体験者数	275人	その他	利用者数	1,767人	ふれあいスポーツ広場		利用者数	3,949人	合 計		7,877人	
区 分		延べ利用者数等																																
ふれあい工房	展示室	利用者数					766人																											
	会議室	利用者数					777人																											
	陶芸体験	体験者数					343人																											
	染色体験	体験者数	275人																															
	その他	利用者数	1,767人																															
ふれあいスポーツ広場		利用者数	3,949人																															
合 計		7,877人																																
・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料等）																																		
・役務費（通信運搬費、火災保険料）																																		
・委託料（電気設備保安管理委託料、草刈委託料等）																																		
・使用料及び賃借料（テレビ放送受信料、清掃用具借上料等）																																		
・備品購入費（電気窯・消防ホース）																																		
○体験事業経費（材料代）		251千円	成果・課題	<p>○陶芸、染色実習室、展示室、会議室、及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、市民の生きがいづくり及び健康増進に寄与することができた。</p> <p>○委託から直営管理にすることで経費削減につながった。</p> <p>○施設の老朽化が進行する中、施設所有者である京都府等と、今後の適切な維持管理や運営の在り方を検討する必要がある。</p>																														

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																					
	項	04 社会教育費							1,173千円	1,205千円	32千円	97.3 %																	
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額																						
	事業	03 たちばな会館管理運営事業					1,205千円	課				生涯学習課																	
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		諸収入 たちばな会館管理光熱水費負担金 291千円																										
目的	橘地区における生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民に各種活動の場を提供するとともに、施設の利用の促進を図る。		主な財源																										
主要な事務・事業の概要	○施設維持管理費 1,173千円 ・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費） 617千円 ・役務費（通信運搬費、火災保険料） 67千円 ・委託料（施設管理委託料、消防設備等保守点検委託料） 489千円																												
	<利用状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>延べ利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議室</td> <td>34回</td> <td>212人</td> </tr> <tr> <td>大会議室</td> <td>17回</td> <td>163人</td> </tr> <tr> <td>料理実習室</td> <td>4回</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>和室1</td> <td rowspan="2">101回</td> <td rowspan="2">390人</td> </tr> <tr> <td>和室2</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>160回</td> <td>1,376人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>316回</td> <td>2,153人</td> </tr> </tbody> </table>		区分	利用回数	延べ利用者数	会議室	34回	212人	大会議室	17回	163人	料理実習室	4回	12人	和室1	101回	390人	和室2	多目的ホール	160回	1,376人	合計	316回	2,153人	成果・課題 ○地域の学習活動及びコミュニティ活動の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な地域活動を促進することができた。 ○かねてより検討している施設の管理方法などの見直しについては、引き続き、地元の意向を聞きながら、検討を進めていく必要がある。				
区分	利用回数	延べ利用者数																											
会議室	34回	212人																											
大会議室	17回	163人																											
料理実習室	4回	12人																											
和室1	101回	390人																											
和室2																													
多目的ホール	160回	1,376人																											
合計	316回	2,153人																											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 1,216千円	最終予算額 1,257千円	不用額 41千円	執行率	部 教育委員会事務局																								
	項	04 社会教育費				96.7%																									
	目	06 社会教育施設費				(参考)当初予算額																									
	事業	04 網野教育会館管理運営事業				1,257千円																									
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源																												
目的	教育及び地域の文化活動・生涯学習の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民に各種活動の場を提供するとともに、施設の利用の促進を図る。																														
主要な事務・事業の概要	○施設維持管理費 1,216千円 ・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 487千円 ・役務費（通信運搬費、火災保険料等） 48千円 ・委託料（施設管理委託料、浄化槽維持管理委託料、消防設備等保守点検委託料、防火対象物定期点検報告業務委託料） 647千円 ・使用料及び賃借料（テレビ放送受信料） 14千円 ・備品購入費（消火器3本） 20千円		<利用状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>延べ利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1階和室</td> <td>78回</td> <td>639人</td> </tr> <tr> <td>料理実習室</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>講義室</td> <td>55回</td> <td>248人</td> </tr> <tr> <td>2階和室</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>大ホール</td> <td>155回</td> <td>1,639人</td> </tr> <tr> <td>全館</td> <td>6回</td> <td>560人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>294回</td> <td>3,086人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	利用回数	延べ利用者数	1階和室	78回	639人	料理実習室	0回	0人	講義室	55回	248人	2階和室	0回	0人	大ホール	155回	1,639人	全館	6回	560人	合計	294回	3,086人
	区分	利用回数	延べ利用者数																												
1階和室	78回	639人																													
料理実習室	0回	0人																													
講義室	55回	248人																													
2階和室	0回	0人																													
大ホール	155回	1,639人																													
全館	6回	560人																													
合計	294回	3,086人																													
			成果・課題	○人権学習や地域の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な学習及び地域活動を促進することができた。 ○かねてより検討している施設の管理方法などの見直しについては、引き続き、地元の意向を聞きながら、検討を進めていく必要がある。																											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	04 社会教育費							171千円	213千円
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額			
	事業	01 文化財保護審議会委員設置事業					213千円	課		
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源							
目的	文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。									
主要な事務・事業の概要	○文化財保護審議会の開催経費		140千円							
	文化財指定、市指定文化財の管理、現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため審議会を開催。（委員定数：10人）									
	・報酬	半日×2回（4千円×延べ19人） 1日×1回（7千円×7人）	125千円							
	・費用弁償		15千円							
	○両丹文化財保護連絡協議会への参加経費		31千円							
	令和3年度は宮津市で開催（令和3年11月19日）									
	・報酬	協議会出席：半日×7人（4千円×7人）	28千円							
	・費用弁償		3千円							
	成果・課題	文化財関係事業について、審議会委員の意見を聞きながら進めることができた。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	04 社会教育費							4,546千円	4,771千円	225千円	95.2 %
	目	07 文化財保護費										(参考)当初予算額
	事業	02 指定文化財等管理事業										4,052千円
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源									
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。また、指定文化財及びそれに関連する施設の草刈や補修等の維持管理を行い、指定文化財の適切な管理活用を図る。											
主要な事務・事業の概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 21件 2,389千円</p> <p>(内訳) ・ 国、府指定登録文化財補助金該当分 11件 1,509千円</p> <p>・ 京都府社寺等文化資料保全補助金該当分 10件 880千円</p> <p>(京丹後市指定文化財及び未指定文化財のうち補助要件を満たすもの)</p> <p>神社・寺院建物の修理、覆屋・収蔵庫の修理、民俗芸能の道具の修理・新調、史跡の修理などを支援。</p> <p>※参考 令和2年度実績</p> <p>補助件数 28件</p> <p>補助金額 2,000千円</p> <p>事業総額 22,550千円</p>			<p>○コウノトリモニタリング事業 784千円</p> <p>国指定特別天然記念物・コウノトリが市内3か所で営巣したため、モニタリング監視員を置き、観察・記録を行うとともに、巣周辺の立ち入り制限などの保護活動を行った。(期間：令和3年4月1日～6月28日)</p>								
	<p>○史跡等草刈・環境美化委託 1,013千円</p> <p>神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、郷村断層、旧口大野村役場庁舎、湯舟坂2号墳、竹野神社環境保全地区、高山12号墳、遠慮遺跡、黒部銚子山古墳、震災記念館用地、大谷古墳、浜詰遺跡、細川ガラシャ夫人隠棲地、岡1号墳 計16件</p>			<p>○指定文化財看板等修繕 288千円</p> <p>・ 説明板、案内看板等修繕・設置工事費 285千円</p> <p>(しわ榎・越水・売布神社・黒部銚子山古墳・奈具岡遺跡看板等)</p> <p>・ 看板土地借上料(3か所) 3千円</p> <p>○指定文化財関連施設管理経費 72千円</p> <p>・ 郷村断層、丹後震災記念館等の指定文化財施設の維持管理経費 45千円</p> <p>・ 火災保険料(旧口大野村役場庁舎、郷村断層、浜詰遺跡復元住居) 27千円</p>								
			<p>成果・課題</p> <p>○市内に数多く残る文化財の保全のために、修理等への補助金を交付し、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。</p> <p>○コウノトリの営巣に伴い必要な保護活動を行い、コウノトリの個体保護に寄与することができた。</p> <p>○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。また、文化財案内看板等の計画的な整備につとめ、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。</p>									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	04 社会教育費						46,150千円	46,332千円	182千円	(参考)当初予算額	99.6 %		
	目	07 文化財保護費										46,332千円	課	文化財保護課
	事業	03 遺跡整備事業										国補	国宝重要文化財等保存・活用事業補助金(1/2)	
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	市債	遺跡整備事業債(過疎対策債)		21,900千円									
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。		主な財源											
主要な事務・事業の概要	<p>国史跡網野銚子山古墳について、平成23年度に策定した整備基本計画に基づき、史跡の保存を図りつつ整備工事を行った。整備工事は、条例に基づき設置した京丹後市史跡整備検討委員会、文化庁等関係機関の指導を受け実施した。(令和6年度完成予定)</p> <p>また、国史跡神明山古墳について、墳丘の保全を阻害する樹木の整理伐採及び園路階段の補修を行った。</p>			<p>○神明山古墳環境整備事業費 3,250千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 環境整備業務設計監理委託料 308千円 雑木伐採委託料 2,006千円 工事請負費 作業道搬出路階段改修工事 936千円 <p>古墳墳丘上の危険木・支障木伐採19本分、木製階段・手摺取替工事23段分</p>										
	<p>○網野銚子山古墳整備事業費 42,900千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 史跡整備検討委員会委員報酬 48千円 (1回開催、委員12人) 旅費 史跡整備検討委員会委員参集旅費等 184千円 需用費 消耗品費 85千円 委託料 実施設計委託料 2,970千円 工事監理委託料 1,485千円 維持管理草刈委託料 703千円 工事請負費 環境整備工事費 37,425千円 <p>墳丘部の整理伐採69本、墳丘前方部の墳丘復元盛土工574㎡、周溝表示工(新設)1430㎡・表面舗装1571㎡等。</p>			成果・課題	<p>○網野銚子山古墳については、史跡整備検討委員会の指導を受け、古墳の保存・活用を図るための環境整備工事の一部を遂行できた。</p> <p>○神明山古墳については、墳丘の危険木等を伐採し、適切な維持管理を図るとともに、後円部墳丘上からの眺望を確保し、環境整備と活用に資することができた。</p>									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	04 社会教育費							6,606千円	6,641千円	35千円	(参考)当初予算額	課	文化財保護課
	目	07 文化財保護費												
	事業	04 遺跡発掘調査等事業												
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源	国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2)	3,300千円								
		府補		埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金(1/4)	1,650千円									
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護活用につなげる。													
主要な事務・事業の概要	<p>浜詰遺跡（網野町浜詰）、東風ヶ奥遺跡（大宮町河辺）の発掘調査を実施し、報告書を刊行した。また、網野銚子山古墳（網野町網野）発掘調査の報告書刊行に向け、整理作業を行った。</p> <p>○会計年度任用職員任用経費 3,945千円 （発掘調査補助員・整理員・作業員9人）</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 3,591千円 報酬期末手当 132千円 共済費（労災保険料、雇用保険料） 23千円 費用弁償 199千円 <p>○発掘調査等経費 2,661千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅費（協議） 11千円 需用費（消耗品、発電機燃料代、印刷製本費等） 395千円 役務費（し尿汲取手数料） 4千円 委託料（網野銚子山古墳に関する遺構図面作成・赤色立体地図等作成委託料） 1,864千円 使用賃借料（重機・機械器具・仮設トイレ借上料） 387千円 			<p><調査概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 浜詰遺跡（現地調査 令和3年5月6日～31日） 府営住宅跡地の分譲計画に先立ち、範囲確認調査を行い、周辺の旧地形の復元を考えるデータを得ることができた。また、令和2年度調査で見つかった貝塚から出土した縄文土器・石器・貝類・骨類の整理作業を行った。 東風ヶ奥遺跡（現地調査 令和3年6月29日～7月30日） 墓地造成計画に先立ち、範囲確認調査を実施し、弥生時代～古墳時代の土器を確認した。 網野銚子山古墳（整理作業のみ） 平成28年度～31年度に実施した発掘調査出土遺物の整理や、遺構のデジタル化、赤色立体図の作成を行った。（令和5年度報告書発刊予定） 										
	成果・課題	<p>○浜詰遺跡の調査では、当時の土地利用や植生等、海辺の縄文人の暮らしを知る上で貴重な成果を確認できた。</p> <p>○東風ヶ奥遺跡の調査では、土地利用や遺物の散布状況を確認できた。</p> <p>○網野銚子山古墳では、遺物の整理や遺構のデジタル化等を進め、報告書発刊の準備を進めることができた。</p>												

予 算 科 目	款	10 教育費	本 年 度 決 算 額	最 終 予 算 額	不 用 額	執 行 率	部	教育委員会事務局					
	項	04 社会教育費							6,565千円	7,275千円	710千円	90.2%	
	目	07 文化財保護費										(参考)当初予算額	
	事業	05 地域文化財総合活用推進事業										6,174千円	
課	文化財保護課	6,539千円											
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主 な 財 源	国補 文化芸術振興費補助金									
目的	市内に数多く残る文化財について、指針となる文化財保存活用地域計画の策定を行うことで、市の歴史文化の特色や課題を明らかにするとともに、その課題解決に向け教育、観光、地域づくり等の各分野が地域資源として有効活用につなげる。												
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	文化財関係者および、商工・観光関係者等が参画した策定協議会及び保存・活用分科会を設置し、文化財保存活用地域計画の作成を進めた。					○事務経費 33千円							
	○文化財保存活用地域計画策定協議会開催経費（委員15人） 163千円					<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、地区アンケート返信用切手代 （地区アンケート…神社・寺院・祭礼行事の意識調査とともに、民俗行事の現状把握、地域資源の掘り起こしを行ったもの。） 							
	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会委員謝金 半日×2回（4,000円×延べ26人） 104千円 ・委員費用弁償 59千円 					<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">参 考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>6,583千円</td> </tr> <tr> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.7%</td> </tr> </table>			参 考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,583千円	実質的な予算執行率	99.7%
	参 考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,583千円										
		実質的な予算執行率	99.7%										
○地域計画策定協議会保存分科会開催経費（委員3人） 85千円					■令和4年度への繰越事業 692千円								
<ul style="list-style-type: none"> ・分科会委員謝金 半日×2回（4,000円×6人） 24千円 ・協議旅費 61千円 					京丹後市文化財保存活用地域計画策定業務 令和4年12月完了予定								
○地域計画策定協議会活用分科会開催経費（委員7人） 57千円													
<ul style="list-style-type: none"> ・分科会委員謝金 半日×2回（4,000円×12人） 48千円 ・委員費用弁償 9千円 													
○計画策定委託料 6,227千円					成果・課題								
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存活用地域計画策定支援委託料 					○協議会及び分科会を設置し、委員の意見を聞きながら、計画作成を進めた。（令和4年12月文化庁認定予定） ○計画策定後、本計画を実行・推進していくための枠組みや体制づくりが重要な課題である。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	04 社会教育費							216千円	352千円	136千円	61.3 %
	目	07 文化財保護費										(参考)当初予算額
	事業	50 文化財保護一般経費										352千円
課	文化財保護課											
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源									
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。											
主要な事務・事業の概要	○文化財収蔵施設維持管理費（5か所）		122千円									
	資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費											
	十楽収蔵庫（久美浜町十楽） 網野出土遺物収蔵庫（網野町網野）											
	旧成路分校（峰山町鱒留） 旧三重保育所（大宮町三重）											
高嶋寮（丹後町上野）												
・光熱水費、火災保険料、草刈委託料、事務費		122千円										
○文化財関係加盟団体経費		60千円										
・全国史跡整備市町村協議会		40千円										
・全国鳴き砂ネットワーク		20千円										
○会議出席経費		34千円										
全国史跡整備市町村協議会臨時大会出席旅費												
・開催日：令和3年11月25日												
・内容：陳情活動												
・出席者：担当職員1人												
			成果・課題	文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 19,309千円	最終予算額 19,452千円	不用額 143千円	執行率	部 教育委員会事務局
	項	05 保健体育費				99.2%	
	目	01 保健体育総務費				(参考)当初予算額	
	事業	01 社会体育団体育成事業				19,752千円	

基本計画 27 多様な学びを支援する社会教育の充実

目的 スポーツ団体による主体的な活動を支援し、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともに、スポーツによる青少年の健全育成と体力の向上を図る。

主な財源

○京丹後市体育協会補助金 15,727千円
 ・加盟団体数：21団体（3,702人） ※令和4年3月末現在
 ・本部及び支部事業の実施
 スポーツ指導者研修会の開催（令和3年11月17日、12月2日）
 各町支部、各競技団体の活動支援（年間）
 大会協力（丹後大学駅伝）
 ・広報紙の発行（年3回）

○京丹後市青少年スポーツ協会活動補助金 3,582千円
 ・加盟団体数：65団体（児童生徒数：1,345人、指導者数：353人）
 ・事業内容：指導者研修会の実施、各加盟団体の支援、生徒募集チラシの発行
 ※子どもスポーツ推進事業（補助金）は、新型コロナウイルス感染予防のため中止

主要な事務・事業の概要

<京丹後市青少年スポーツ協会 種目別加盟団体数>

種目	団体数	種目	団体数	種目	団体数
野球	10	柔道	1	卓球	1
バレーボール	10	硬式テニス	2	複合(複数種目)	1
バスケットボール	6	ソフトテニス	2	カヌー	1
サッカー	6	バドミントン	3	レスリング	1
空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	1
陸上	7	新体操	1	合計	65
剣道	4	体操	1		

成果・課題
 ○コロナ禍の中、活動期間や場所が限られたが、スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。
 ○京丹後市青少年スポーツ協会の加盟団体への活動助成金の交付や指導者研修会を開催し青少年のスポーツを通じた健全育成を支援した。
 ○体育協会は、組織強化を図るため法人化に向けた準備を進め、令和4年度当初に法人格を取得することができた。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	05 保健体育費				91.5 %					
	目	01 保健体育総務費				2,536千円	2,769千円	233千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	50 保健体育総務一般経費							3,065千円		
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源								
目的	社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、スポーツ基本法に基づき設置したスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ環境の整備及びスポーツ活動の推進を図る。										
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進審議会に関する経費		102千円								
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会委員報酬：12人、開催回数：2回 ・ 費用弁償 		88千円 14千円								
○会計年度任用職員任用経費 (スポーツ推進室事務補助：1人)		2,335千円									
○社会体育に関する事務経費		99千円									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当国会議、大会誘致活動等旅費 ・ 全国大会等出場懸垂幕作成経費 ・ 有料道路通行料等 		7千円 76千円 16千円									
				成果・課題	「第2次京丹後市スポーツ推進計画」の進捗状況の管理や審議を行い、市民の意見を反映したスポーツ環境の整備やスポーツ活動の推進を図ることができた。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費							2,697千円	3,018千円	321千円	89.3 %
	目	02 ｽｰｯ推進費										(参考)当初予算額
	事業	01 ｽｰｯ推進委員活動事業										3,610千円
課	生涯学習課											
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源									
目的	市民にスポーツに関する指導を行うスポーツ推進委員を委嘱し、住民の求めに応じた、身近な場でのスポーツの機会を提供することにより、市民が気軽に親しめるスポーツ活動を推進する。											
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進委員報酬（48人分）	2,400千円	<活動内容> ・ノルディック・ウォーキング体験会 年間7回、延べ125人参加 ・ニュースポーツ体験会（ビーチボールバレーほか） 年間27回、延べ221人参加 ・地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導（ノルディック・ウォーキング、ニュースポーツ、体カテストほか） ・スポーツ大会への協力（丹後大学駅伝ほか）									
	○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）	143千円										
○需用費（消耗品費） ・機関紙購読料、広報用カラーペーパー	11千円											
○役務費（スポーツ安全保険料）	88千円											
○負担金、補助及び交付金 ・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金 ・障害者スポーツ指導員養成研修会参加負担金	55千円 43千円 12千円											
			成果・課題	○コロナ禍の中、活動が制限され例年のような活動ができなかったが、「ノルディック・ウォーキング」、「ニュースポーツ」の普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。 ○今後も、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域において、スポーツ指導をする場を設けられるよう、地区公民館等への働きかけ、連携を強化する必要がある。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																								
	項	05 保健体育費							2,904千円	3,078千円	174千円	94.3 %																				
	目	02 ｽｰｯ推進費										(参考)当初予算額																				
	事業	02 地域ｽｰｯ推進事業										6,545千円																				
課	生涯学習課																															
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	国補	地方創生推進交付金	539千円																										
		繰入金		韓哲・まちづくり夢基金繰入金	238千円																											
目的	ライフステージに応じた各種スポーツ大会を実施することで、市民の生きがいの実感や健康づくりを促進するとともに、スポーツを通じた交流機会を確保しスポーツ人口の拡大を図る。			諸収入	スポーツ大会参加料	11千円																										
主要な事務・事業の概要	○報償費	332千円	<大会等実施状況>																													
	・野村克也メモリアル事業講師謝金	310千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>大会名</th> <th>開催日</th> <th>参加者等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民陸上記録会</td> <td>6/27(日)</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>市長杯争奪中学校野球大会</td> <td>7/3(土)、4(日)</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>京丹後市総合体育(交流)大会</td> <td>8/20(金)~3/15(火)</td> <td>3種目171人 ※</td> </tr> <tr> <td>京都府民総合体育(交流)大会</td> <td>8/30(金)~2/28(火)</td> <td>7競技66人参加 ※</td> </tr> <tr> <td>京丹後チャレンジデー2021</td> <td>10/27(水)</td> <td>21,140人</td> </tr> <tr> <td>はしうど杯卓球選手権大会</td> <td>12/5(日)</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>野村克也メモリアル事業</td> <td>12/19(日)</td> <td>360人</td> </tr> </tbody> </table>						大会名	開催日	参加者等	市民陸上記録会	6/27(日)	60人	市長杯争奪中学校野球大会	7/3(土)、4(日)	75人	京丹後市総合体育(交流)大会	8/20(金)~3/15(火)	3種目171人 ※	京都府民総合体育(交流)大会	8/30(金)~2/28(火)	7競技66人参加 ※	京丹後チャレンジデー2021	10/27(水)	21,140人	はしうど杯卓球選手権大会	12/5(日)	100人	野村克也メモリアル事業	12/19(日)	360人
	大会名	開催日	参加者等																													
	市民陸上記録会	6/27(日)	60人																													
	市長杯争奪中学校野球大会	7/3(土)、4(日)	75人																													
	京丹後市総合体育(交流)大会	8/20(金)~3/15(火)	3種目171人 ※																													
	京都府民総合体育(交流)大会	8/30(金)~2/28(火)	7競技66人参加 ※																													
	京丹後チャレンジデー2021	10/27(水)	21,140人																													
	はしうど杯卓球選手権大会	12/5(日)	100人																													
	野村克也メモリアル事業	12/19(日)	360人																													
・はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金	18千円																															
・入賞記念品(はしうど杯卓球大会)	4千円																															
○旅費	7千円																															
○需用費(消耗品費、燃料費、食糧費、修繕料、印刷製本費)	269千円																															
○委託料	1,184千円																															
・市長杯争奪中学校野球大会開催委託料	101千円																															
・ジュニアカヌースプリント大会運営委託料	256千円																															
※開催日直前の中止決定により既に実施していた業務の経費が発生																																
・京丹後市民陸上記録会運営委託料	300千円																															
・野村克也メモリアル事業関連委託料	527千円																															
○使用料及び賃借料(会場借上料等)	143千円																															
○負担金、補助金及び交付金	969千円																															
・京都府民総合体育大会派遣費補助金	346千円																															
・京丹後市総合体育大会開催補助金	253千円																															
・京丹後チャレンジデー実行委員会補助金	100千円																															
・野村克也杯学童野球大会実行委員会補助金	270千円																															
成果・課題	<p>○市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染予防のため、一部の大会は実施できなかった。</p>																															

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	05 保健体育費							2,746千円	2,848千円	102千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	目	02 ｽｰｯ推進費												
	事業	03 ｽｰｯｲハｯﾄ推進事業												
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		寄附金 ふるさと応援寄附金 1,565千円											
目的	観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。		主な財源											
主要な事務・事業の概要	<スポーツイベントの実施状況等>													
	イベント名		開催日程	会場	参加者等									
	丹後100kmウルトラマラソン代替事業 ①「丹後でウルトラ旅ラン」(観光型ランニングイベント) ②「丹後ウルトラの『顔』になろう!～フォトコンテスト～」		9/1 ～12/10	京丹後市内	申込者数:50人 参加者数:25人 フォトコン:9作品									
	丹後大学駅伝(第83回関西学生対校駅伝競走大会)		11/20(土)	丹後地域	22チーム、220人									
<大会中止>														
<ul style="list-style-type: none"> あみの八丁浜ロードレース大会 京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会 久美浜湾一周駅伝競走大会 丹後100kmウルトラマラソン 														
○負担金(丹後大学駅伝後援会への負担金)		900千円		成果・課題	○新型コロナウイルス感染予防のため、多くの大会が中止となったが、対策を行って開催可能な大会等を実施し、本市の魅力発信に寄与した。 ○丹後100kmウルトラマラソンは中止となったが、代替事業を実施し、ファンの繋ぎ止めを図ることができた。 ○丹後大学駅伝は、2年ぶりに従来の規模で実施。ガバメントクラウドファンディング(寄附金)により、地上波によるテレビ放映(20分番組)の実施支援を行ったことで、事業の周知・京丹後市のPRにつなげることができた。									
○補助金		1,647千円												
<ul style="list-style-type: none"> 関西学生対校駅伝競走大会情報発信事業補助金 丹後ウルトラマラソン補助金 		1,565千円 82千円												
○その他経費(消耗品費、燃料費、修繕料)		199千円												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費							23,191千円	23,404千円	213千円	99.0%
	目	02 スポーツ推進費										(参考)当初予算額
	事業	04 オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業										24,751千円
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		府補	ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策事業基金交付金		6,322千円						
目的	東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加及びスポーツによる地域の活性化を図る。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	<p>【ホストタウン交流・オリンピック事前合宿受入事業】</p> <p>相手国（人数）：スペイン（17人）、ポルトガル（11人）</p> <p>場所：京丹後市久美浜湾カヌー競技場 ほか</p> <p>実施期間：7月18日（日）～7月28日（水）11日間</p> <p><トレーニングキャンプ> 14,728千円</p> <p>○報償費（招待者記念品：ポロシャツ・巾着・扇子など） 195千円</p> <p>○需用費（消耗品費、燃料費） 646千円</p> <p>○手数料</p> <p>（船舶検査手数料、PCR検査手数料 ほか） 1,312千円</p> <p>○保険料（モーターボート保険料） 44千円</p> <p>○委託料</p> <p>（会場設営、バス運転、交流事業、通訳、廃棄物処理） 10,836千円</p> <p>○使用料及び賃借料（船舶借上、機械器具、施設使用） 1,695千円</p> <p><選手移動支援> 8,316千円</p> <p>○旅費（費用弁償、普通旅費） 213千円</p> <p>○委託料（艇輸送、選手移動支援） 7,297千円</p> <p>○使用料及び賃借料（自動車借上、有料道路、駐車場） 806千円</p>				<p>【パラリンピック関連事業】</p> <p><パラスポーツ体験会> 68千円</p> <p>開催日：令和3年12月18日（土）</p> <p>会場：大宮社会体育館</p> <p>講師：阪根 泰子 氏（アテネパラリンピック車いすバスケットボール日本代表）</p> <p>内容：講演、パラスポーツ体験会（参加者76人）</p> <p>○報償費（講師謝金） 41千円</p> <p>○需用費（消耗品費） 27千円</p> <p><パラリンピック採火式> 79千円</p> <p>開催日：令和3年8月16日（月）</p> <p>会場：浜詰夕日の丘</p> <p>○委託料（会場設営委託料） 75千円</p> <p>○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 4千円</p>							
	成果・課題	<p>○スペイン及びポルトガルカヌーチームの本市におけるオリンピック事前合宿受入れを実施、交流することにより、多文化共生の推進や地域活性化につなげることができた。</p> <p>○パラスポーツ体験会では、障害者スポーツ、共生社会の実現についての理解を深める契機となった。</p> <p>○継続的な事業の実施により、スポーツを通じたまちづくりを推進する必要がある。</p>										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費							1,698千円	1,825千円	127千円	93.0 %
	目	02 スポーツ推進費										(参考)当初予算額
	事業	05 ワールドマスターズゲームズ 関西推進事業										3,961千円
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		府補	丹後半島振興広域連携促進事業費補助金	165千円							
目的	ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG)の取組を通じて、本市の滞在型スポーツ観光の推進、障害者スポーツの基盤づくり及び地域の活性化を図る。					主な財源						
主要な事務・事業の概要	OWMG京丹後市実行委員会補助金 1,473千円 ・実行委員会ホームページ運営等 427千円 ・WMGプレ大会開催費用 1,046千円 <SUP2021ジャパンオープン> ・開催日：令和3年4月11日(日) ※10日(土) SUP無料体験会実施 ・参加者数：71人 ※無料体験会 40人 ・会場：久美浜湾カヌー競技場 <令和3年度全日本カヌーマラソン選手権大会> ・開催予定日：令和3年6月19・20日(土・日) ・開催日：令和3年6月19・20日(土・日) ※6月14日延期決定、9月4日中止決定 <全国高等学校カヌー長距離選手権大会> ・開催日：令和4年3月20日(日) ・参加者数：129人 ・会場：久美浜湾カヌー競技場			○その他 225千円 ・WMG京都府実行委員会負担金 200千円 ・旅費(京都府実行委員会会議)、消耗品費、有料道路通行料 25千円								
	成果・課題				OWMGプレ大会(SUP、カヌーマラソン、全国高校長距離)を開催し、本大会に向けての競技運営に必要な運営体制等について確認することができ、今後の大会・合宿誘致に向けてノウハウを得られた。 ○大会ホームページで情報発信を行うなどWMG大会及び京丹後市のPRに努めた。 OWMG大会は2027年に延期となったが、本大会の開催に向け、引き続きプレ大会の開催等、必要な準備や本大会の啓発等を進める必要がある。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費							917千円	1,186千円	269千円	77.3 %
	目	02 ｽﾍﾞｰﾙ推進費										(参考)当初予算額
	事業	06 東京2020オリンピック聖火リレー事業										3,810千円
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		府補	東京2020オリンピック聖火リレー開催補助金		454千円						
目的	東京2020オリンピック聖火リレーを実施することにより、大会の機運醸成、ホストタウン事業などの成功に資するとともに、スポーツ振興、地域活性化などスポーツによるまちづくりを推進する。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	京丹後市聖火リレー（浅茂川漁港をスタートし、八丁浜小浜キャンプ場付近をゴールとした約2.2キロメートル）は、新型コロナウイルス感染予防のため中止となり、京都スタジアムでの無観客によるリレーと点火セレモニーを実施。											
	<ul style="list-style-type: none"> 実施日 令和3年6月25日 会場 京都スタジアム（亀岡市） 京丹後市からのリレー参加者数 11人 											
	○旅費		5千円									
	○需用費（消耗品費、印刷製本費）		311千円									
	○委託料		569千円									
<ul style="list-style-type: none"> 会場設営委託料（ステージ看板委託など） 会場警備計画策定委託料等（リレーコースの警備計画作成など） 		※開催間際での中止（5月12日）となったため、それまでにかかった経費										
○使用料及び賃借料（自動車借上料、有料道路通行料）		32千円	成果・課題		当初予定していた網野八丁浜を会場としていた計画は変更となったが、京都スタジアムでの無観客によるリレーに本市からも参加し、スポーツ振興の機運醸成を図ることができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費							67,774千円	67,940千円	166千円	99.7%
	目	03 体育施設費										(参考)当初予算額
	事業	01 体育施設管理運営事業										77,538千円
課	生涯学習課											
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	社会体育施設使用料	95千円						
目的	市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。			諸収入	自動販売機売上料	17千円						
				諸収入	旧宇川中学校、旧大宮第三小学校、旧海部小学校施設光熱水費利用負担金	596千円						
				市債	社会体育施設整備事業債（過疎対策債）	12,000千円						
			市債	社会体育施設整備事業債（合併特例債）	2,800千円							
主要な事務・事業の概要	<体育施設の維持管理経費>			<利用状況>								
	○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料）	34,354千円	紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）		310	件						
	○役務費（通信運搬費、し尿汲取手数料、火災保険料等）	1,732千円	大宮自然運動公園（グラウンド、テニスコート）		395	件						
	○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等）	14,184千円	大宮社会体育館		789	件						
	○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料）	722千円	網野グラウンド（グラウンド、屋内ゲートボール場）		590	件						
	○工事設計監理委託料・工事請負費	14,201千円	網野体育センター（体育室、柔・剣道室、テニスコート）		911	件						
	○備品購入費（バスケットゴール1基、地ならし機1台など）	2,438千円	丹後社会体育館		314	件						
	○負担金（下水道加入分担金）	140千円	弥栄総合運動公園（体育館、グラウンド、屋根付ゲートボール場等）		1,279	件						
	○償還金（施設使用料返還金）	3千円	久美浜中央運動公園 （グラウンド、テニスコート、屋根付ゲートボール場）		938	件						
	<主な修繕・工事>			その他体育施設（30施設）		3,287	件					
・網野体育センターテニスコート照明修繕工事	1,138千円	合計（47施設）		8,813	件							
・旧橋体育館等消防設備不備指摘事項修繕工事	891千円	成果・課題 ○新型コロナウイルス感染予防のため、施設の一時休業を含む利用制限を行った期間があったが、前年度に比べて年間の利用件数は微増した。施設の適切な管理運営を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○スポーツ活動拠点の効率的・効果的な管理運営を図るため、公共施設見直し計画等に基づき、管理形態の見直し等について検討していく必要がある。										
・大宮社会体育館床改修工事	902千円											
・大宮社会体育館ホール間仕切り工事	299千円											
・大宮社会体育館トイレ引き戸工事	297千円											
・大宮自然運動公園1号手洗所下水道接続等工事	10,283千円											
・弥栄総合運動公園高圧ケーブル更新工事	4,345千円											
・弥栄総合運動公園第2キュービクル機器改修工事	396千円											
・久美浜中央運動公園遊具撤去工事	539千円											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 1,624千円	最終予算額 1,697千円	不用額 73千円	執行率 95.6 % (参考)当初予算額 1,697千円	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費						課
	目	03 体育施設費						
	事業	02 社会体育用学校開放施設管理運営事業						

基本計画 27 多様な学びを支援する社会教育の充実

目的 地域住民にとって身近で利用しやすい学校体育施設を開放及び維持管理することにより、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって生活文化の向上に資する。

主な財源

主要な事務・事業の概要	＜利用状況＞ (単位：施設・件)										
			峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計		
	小学校	体育館	施設数	4	2	4	2	2	3	17	
			利用件数	1,060	472	420	177	240	296	2,665	
	グラウンド	格技場	施設数	4	2	4	2	2	3	17	
			利用件数	303	133	391	44	152	61	1,084	
	中学校	体育館	施設数	2	1	1	2	1	1	8	
			利用件数	317	164	153	40	253	85	1,012	
		グラウンド	施設数	1	1	1	1	1	1	6	
			利用件数	19	120	41	36	162	36	414	
		格技場	施設数		1	1	1		1	4	
			利用件数		87	39	162		46	334	
	合計			施設数 54			利用件数 5,731				

○需用費（消耗品費、印刷製本費、修繕料）	1,602千円
＜修繕内訳＞	
・いさなご小学校屋外照明不良改修	33千円
・長岡小学校体育館ランプ取替	162千円
・網野南小学校配電盤ボックスハンドル取替	8千円
・島津小学校体育館電球交換	207千円
・宇川小学校屋外照明ランプ不良取替	148千円
・吉野小学校体育館電球交換	125千円
・高龍小学校体育館照明灯スイッチ修繕	25千円
・弥栄中学校屋外運動場夜間照明水銀球交換	310千円
・久美浜中学校体育館ランプ取替	176千円
○役務費（支障物撤去手数料）	22千円

成果・課題
 ○新型コロナウイルス感染予防のため、施設の一時休業を含む利用制限を行ったことにより、昨年度に比べて年間の利用件数が減少したが、施設の計画的な維持管理に努め、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場を提供することにより、市民が楽しみ共につくるスポーツのまちづくりに寄与した。
 ○今後も市民にとって身近で利用しやすい施設として管理運営に努めていく必要がある。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費							2,822千円	3,107千円	285千円	90.8 %
	目	03 体育施設費										(参考)当初予算額
	事業	03 久美浜湾加-セ-管理運営事業										3,107千円
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		使用料	加-セ-使用料	507千円							
目的	豊かな自然の中で、カヌーを通して市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、心身の健康づくりに資するとともに、本市のスポーツ活動の拠点の一つとして地域の活性化に資するため、カヌーセンターの管理運営を行う。				主な財源							
主要な事務・事業の概要	<オープニングセレモニー/リーフレット作成/センター備品運搬> 638千円 オープニングセレモニー：4月11日（日） オープニングセレモニーの開催経費や、リーフレットの作成経費、旧艇庫の備品整理経費など ○需用費（印刷製本費）、委託料（リーフレット作成委託料） 88千円 ○委託料（会場設営委託料） 39千円 ○委託料（荷物運搬作業、産業廃棄物処理、施設運搬作業委託料） 511千円			<カタマラン艇（2艇）の維持管理> 298千円 保有艇の1年毎の点検及び修理 ○需用費（燃料費） 22千円 ○需用費（修繕料） 66千円 ○委託料（設備保守管理委託料） 210千円								
	<カヌーセンター管理運営> 889千円 ○需用費（消耗品費、印刷製本費） 123千円 ○需用費（燃料費、光熱水費） 298千円 ○保険料（火災保険料）、委託料（消防設備等保守点検委託料） 92千円 ○委託料（カヌーセンター管理委託料） 499千円			<譲渡により取得したオリンピック競技用備品（カタマラン艇1艇）> 310千円 ※譲渡元：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 ○需用費（消耗品） 11千円 ○手数料（船舶登録手数料） 18千円 ○委託料（荷物運搬作業委託料） 264千円 ○備品購入費（ライフジャケット1着） 17千円								
<貸出用備品（SUP）の整備> 564千円 ○需用費（消耗品費） 16千円 ○備品購入費（SUP1台） 548千円			成果・課題		新型コロナウイルス感染予防のため、施設の一時休業を含む利用制限を行ったが、施設の適切な管理運営を行い、オリンピック代表チームの合宿誘致や、全国大会の開催など、本市のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	31,452千円	31,962千円	510千円	(参考)当初予算額	98.4 %						
	目	04 学校給食費					37,444千円						
	事業	02 網野給食センター管理運営事業											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	諸収入	市有建物損害共済金		28千円	諸収入	市有自動車損害共済金		372千円	課	学校教育課
目的	網野地域の小学校及び中学校に栄養バランスの取れた給食を提供し、児童生徒の心身の健全な発達に寄与する。		市債	学校給食センター整備事業債（過疎対策債）			1,500千円						
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員経費（調理補助員7人、事務補助員1人）		15,099千円	○浄化槽維持管理委託、浄化槽法定検査手数料		1,311千円							
	○給食調理及び施設維持経費等		9,956千円	○検便検査、その他検査		266千円							
	・消耗品費（厨房用消耗品ほか）		1,649千円	○その他（電話代、保険料等、電気設備保守管理委託ほか）		953千円							
	・燃料費（ボイラー用灯油、ガス、配送車燃料）		3,725千円										
	・光熱水費（電気、水道代）		4,582千円										
○修繕料		2,116千円											
・厨房内調理機器修理		72千円											
・施設修理（浄化槽設備ほか）		1,315千円											
・車両点検、車検修理（配送車3台、軽トラック1台）		729千円											
○備品購入費		1,751千円											
・業務用冷凍庫（1台）、器具消毒保管機（1台）		1,217千円	成果・課題	○網野町域の小中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供することができた。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。									
・冷凍庫（検食保存用）（1台）、L型運搬車（4台）		534千円											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	167,910千円	167,972千円	62千円	(参考)当初予算額	99.9%					
	目	04 学校給食費					167,457千円	課	学校教育課			
	事業	03 小学校給食管理運営事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	諸収入	小学校給食調理機器類貸付料		5,544千円					
				市債	小学校給食備品整備事業債（過疎対策債）		3,800千円					
目的	児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。											
主要な事務・事業の概要	小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。			○機器移設手数料 275千円 ・機器の移設に伴う手数料								
	○給食調理 13,818千円 ・消耗品費 61千円 ・燃料費（ガス） 12,359千円 ・修繕料（調理機器） 1,398千円			○協議会等負担金 22千円 ・全国学校栄養士協議会負担金 12千円 ・京都府学校給食研究会負担金 9千円 ・京都府学校栄養士協議会負担金 1千円								
○給食調理業務委託 147,332千円 ・委託料（網野地域を除く全13校を委託）												
○備品購入 6,463千円 ・真空冷却器1台（大宮第一小） 3,399千円 ・業務用冷凍庫2台（弥栄小、高龍小） 599千円 ・牛乳保冷庫2台（網野南小、吉野小） 536千円 ・回転釜1台、立体炊飯器1台（久美浜小） 796千円 ・保温・保冷食缶92個（全小学校全クラス分） 902千円 ・食器かご等（小学校4校） 231千円			成果・課題 ○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費							49,871千円	52,506千円	2,635千円	94.9%
	目	04 学校給食費										(参考)当初予算額
	事業	04 中学校給食管理運営事業										52,725千円
課	学校教育課											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	諸収入	中学校給食調理機器類貸付料		1,812千円					
				市債	中学校給食備品整備事業債（過疎対策債）		1,100千円					
目的	生徒の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。											
主要な事務・事業の概要	<p>中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。</p> <p>○会計年度任用職員任用経費（峰山中1人、大宮中2人） 4,503千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬費、期末手当、共済費、費用弁償 <p>○給食調理 7,440千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費 656千円 燃料費（ガス） 5,747千円 修繕料（調理機器） 1,017千円 手数料（包丁研磨、調理備品移設） 20千円 <p>○給食調理業務委託 36,155千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料（網野中学校を除く5校中3校を委託） 丹後中、弥栄中、久美浜中 			<p>○備品購入 1,744千円</p> <ul style="list-style-type: none"> スチームコンベクションオープン1台（丹後中） 1,118千円 3槽シンク1台（峰山中） 234千円 保温・保冷食缶33個（全中学校全クラス分） 324千円 食器かご等（丹後中、大宮中） 68千円 <p>○協議会等負担金 29千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学校栄養士協議会負担金 24千円 京都府学校給食研究会負担金 3千円 京都府学校栄養士協議会負担金 2千円 								
	成果・課題	<p>○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。</p> <p>○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。</p> <p>○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。</p>										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費							560千円	701千円	141千円	79.8 %
	目	04 学校給食費										(参考)当初予算額
	事業	50 学校給食一般経費										840千円
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、献立研究会の活発な活動を促し、衛生管理や栄養面等での充実を図る。											
主要な事務・事業の概要	○衛生管理の徹底		537千円									
	学校給食衛生管理基準に基づく給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに、衛生対策関連の消耗品の種類や内容を統一して、一括購入・供給を行った。											
	・衛生用消耗品購入		446千円									
	・給食調理員等検便検査		80千円									
	・給食用食材細菌検査等		11千円									
	○栄養士負担金		15千円									
・京都府栄養士会負担金												
○給食費公会計化に伴う視察（南丹市：3人）		8千円										
・旅費（普通旅費）		5千円										
・有料道路通行料		3千円										
				成果・課題	<p>○学校給食全般における衛生管理の徹底及び給食献立の研究を進めることで、衛生管理と栄養面での充実につながった。</p> <p>○給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査の充実を図り、より安全・安心な学校給食を実施していく必要がある。</p>							

予算科目	款	11 災害復旧費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	03 文教施設災害復旧費							3,850千円	3,850千円	0千円	100.0 %
	目	01 公立学校施設災害復旧費										(参考)当初予算額
	事業	01 公立学校施設災害復旧事業										0千円
課	教育総務課											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国負	公立学校施設災害復旧事業費負担金 (2/3)	513千円						
目的	令和3年8月3日の落雷により被災した学校施設の復旧を図る。			諸収入	市有建物損害共済金	2,705千円						
				市債	公立学校施設災害復旧事業債	200千円						
主要な事務・事業の概要	○いさなご小学校電気設備災害復旧事業 ・工事請負費		3,850千円		成果・課題	○令和3年8月3日の落雷により、いさなご小学校の高圧受電設備が被害を受け停電となる災害が発生したため、復旧工事を実施した。 ○被災した公立学校施設を復旧することにより施設の機能回復を図ることができた。						

予算科目	款	08 土木費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部				
	項	04 都市計画費							65,760千円	65,766千円	6千円	99.9%
	目	03 都市公園費										(参考)当初予算額
	事業	01 都市公園等維持整備事業【再掲】										65,753千円
課	都市計画 ・建築住宅課											
基本計画	12 快適な都市空間の形成		主な財源	使用料	都市公園占用料	76千円						
目的	都市公園を適正に維持管理し、市民が快適で安全・安心に利用できるようにする。			諸収入	地方公共団体補助活動助成金	604千円						
				市債	過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債）	49,000千円						
主要な事務・事業の概要	指定管理による適切な施設管理や利用者サービスの提供を行った。また、施設の整備並びに修繕工事を実施し、利用者の安全性・利便性を確保した。			○峰山途中ケ丘公園・峰山総合公園維持管理経費		50,106千円						
	○八丁浜シーサイドパーク維持管理経費 15,654千円			【所管：生涯学習課】								
	【所管：都市計画・建築住宅課】			・指定管理委託料		42,500千円						
	・指定管理委託料 15,610千円			・指定管理者休業協力金		154千円						
・その他（保険料） 44千円			期間：令和3年4月25日～令和3年5月31日		104千円							
(参考) 都市公園利用状況			令和3年8月27日～令和3年9月17日		50千円							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山途中ケ丘公園</td> <td>14,748人</td> </tr> <tr> <td>峰山総合公園</td> <td>21,048人</td> </tr> </tbody> </table>			施設名	利用数	峰山途中ケ丘公園	14,748人	峰山総合公園	21,048人	・修繕料（峰山途中ケ丘公園街渠修繕工事）		879千円	
施設名	利用数											
峰山途中ケ丘公園	14,748人											
峰山総合公園	21,048人											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八丁浜シーサイドパーク</td> <td>23,615人</td> </tr> <tr> <td>八丁浜有料駐車場</td> <td>6,442台</td> </tr> </tbody> </table>			施設名	利用数	八丁浜シーサイドパーク	23,615人	八丁浜有料駐車場	6,442台	・工事請負費（京丹後夢球場内野グラウンド整備工事）		6,221千円	
施設名	利用数											
八丁浜シーサイドパーク	23,615人											
八丁浜有料駐車場	6,442台											
			・その他（建築確認手数料、保険料）		150千円							
			【所管：都市計画・建築住宅課】									
			・用地賃借料（借上面積：1,995㎡）		202千円							
			成果・課題	○都市公園の維持管理を適正に実施し、利用者の安全で安心な利用に資することができた。 ○峰山途中ケ丘公園街渠修繕工事、京丹後夢球場内野グラウンド整備工事を実施し、利用者の安全性や利便性を確保した。								